

# 令和5年3月市議会定例会

## 上下水道局 議案説明資料 (当初予算分)

### 目次

I	令和5年度当初予算(案)総括表	1頁
II	有収水量と料金収入	2頁
III	水道事業会計	
1	令和5年度当初予算(案)総括表	3頁
2	令和5年度建設改良事業	5頁
IV	工業用水道事業会計	
1	令和5年度当初予算(案)総括表	17頁
2	令和5年度建設改良事業	19頁
V	公共下水道事業会計	
1	令和5年度当初予算(案)総括表	21頁
2	令和5年度建設改良事業	23頁
VI	その他	
1	富山市水道事業、工業用水道事業及び公共下水道事業の設置等に 関する条例の一部を改正する条例制定の件	44頁

# I 令和5年度当初予算(案)総括表

(単位:千円)

		令和5年度①	令和4年度②	差引増減 ①-②	伸率(%)	
水道事業会計	収益的 収支	事業収益 A	7,559,090	7,656,122	△ 97,032	△ 1.27
		事業費用 B	7,210,894	7,158,157	52,737	0.74
		差引損益(税込) A-B	348,196	497,965	△ 149,769	△ 30.08
		純利益(税抜)	98,377	208,708	△ 110,331	△ 52.86
	資本的 収支	資本的收入 C	3,221,459	3,199,810	21,649	0.68
		資本の支出 D	6,766,641	7,032,911	△ 266,270	△ 3.79
		差引収支(税込) C-D	△ 3,545,182	△ 3,833,101	287,919	7.51

(単位:千円)

		令和5年度①	令和4年度②	差引増減 ①-②	伸率(%)	
工業用水道事業会計	収益的 収支	事業収益 A	484,086	477,371	6,715	1.41
		事業費用 B	337,356	336,416	940	0.28
		差引損益(税込) A-B	146,730	140,955	5,775	4.10
		純利益(税抜)	139,760	134,620	5,140	3.82
	資本的 収支	資本的收入 C	4	20,017	△ 20,013	△ 99.98
		資本の支出 D	191,466	225,936	△ 34,470	△ 15.26
		差引収支(税込) C-D	△ 191,462	△ 205,919	14,457	7.02

(単位:千円)

		令和5年度①	令和4年度②	差引増減 ①-②	伸率(%)	
公共下水道事業会計	収益的 収支	事業収益 A	15,781,897	16,653,886	△ 871,989	△ 5.24
		事業費用 B	14,394,032	14,552,685	△ 158,653	△ 1.09
		差引損益(税込) A-B	1,387,865	2,101,201	△ 713,336	△ 33.95
		純利益(税抜)	1,137,630	1,870,890	△ 733,260	△ 39.19
	資本的 収支	資本的收入 C	7,390,340	7,428,855	△ 38,515	△ 0.52
		資本の支出 D	14,677,954	14,978,627	△ 300,673	△ 2.01
		差引収支(税込) C-D	△ 7,287,614	△ 7,549,772	262,158	3.47



## II 有収水量と料金収入

水道の有収水量と料金収入については、28年度以降、減少幅は鈍化傾向にあったが、元年度からの人口減少率の拡大(H28～H30平均:△0.11%、R1:△0.35%、R2:△0.44%、R3:△0.58%、R4:△0.56%)とともに、その減少幅は増加してきている。(※2年度は大雪及び新型コロナ等の特殊要因により増加)

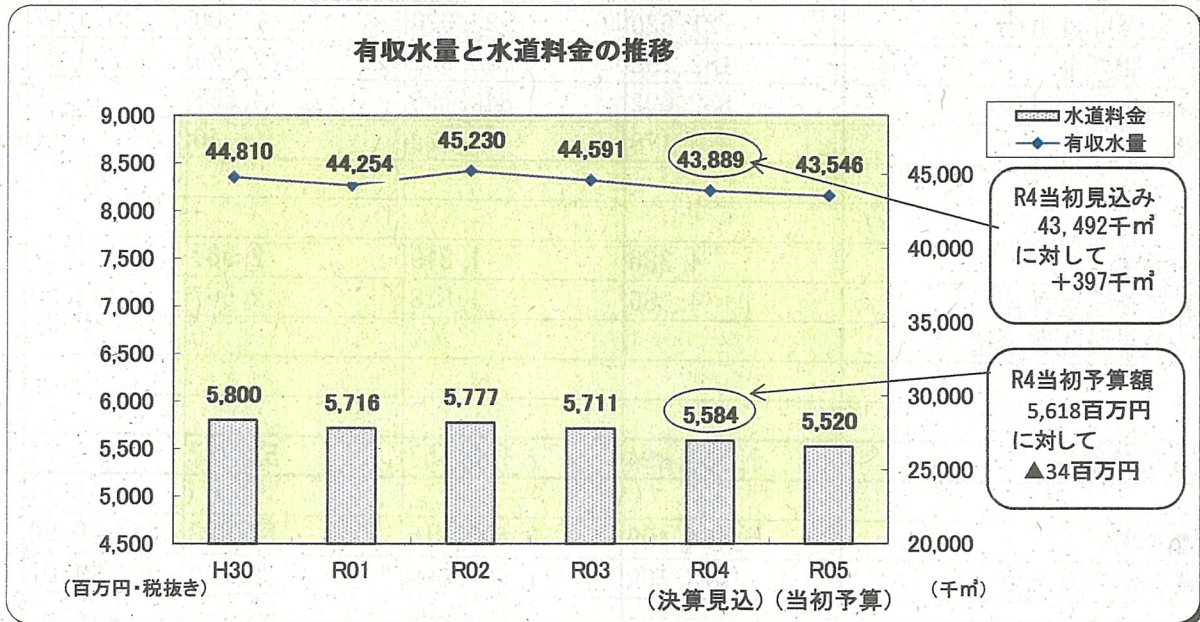
また、下水道の有収水量と使用料収入については、未接続世帯からの新規接続などにより、横ばいの傾向にあったが、水道同様、元年度からの人口減少率の拡大とともに、減少傾向となりつつある。

4年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う、特段の行動制限等が行われていないことから、コロナの影響はほとんど無いものと見込むものの、上半期は人口減少等により有収水量及び料金収入とも前年度を下回っており、年間ベースでも同様の傾向が続くものと見込む。

5年度も、4年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響は無いものと見込むが、引き続き、人口減少率が高く推移することを想定し、4年度決算見込額に対し、水道料金は△1.15%(元年度比(コロナ前)△3.43%)、下水道使用料は△1.06%(元年度比△3.57%)を見込んだ。

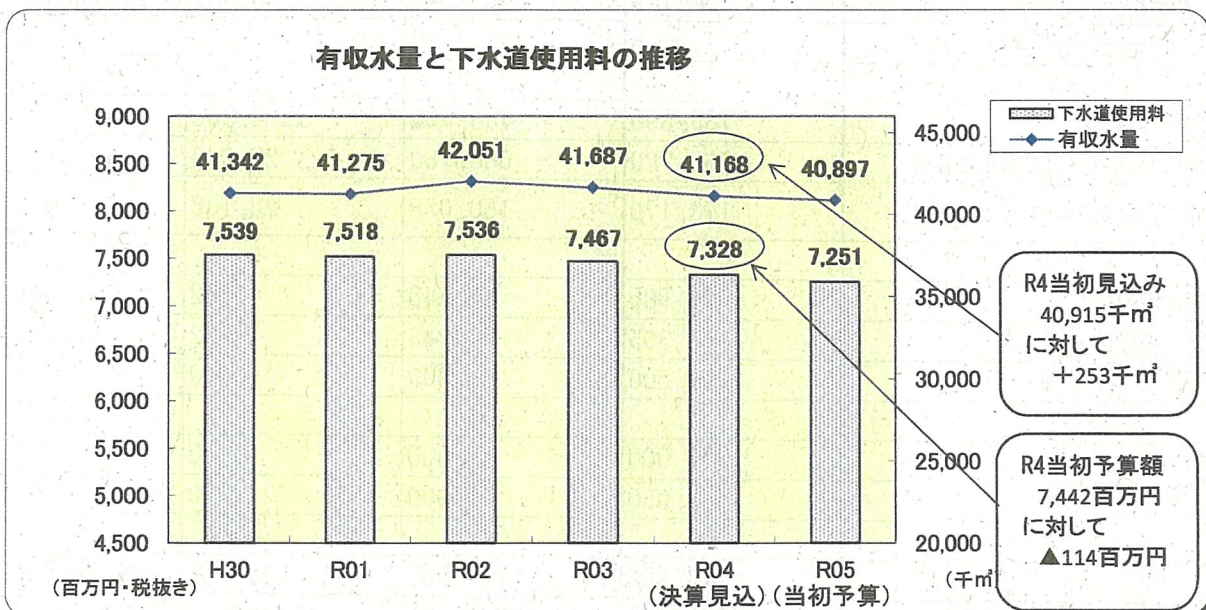
◇有収水量と水道料金の推移(令和4年度は決算見込、5年度は当初予算)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
有収水量(千 $m^3$ )	44,810	44,254	45,230	44,591	43,889	43,546
対前年度比(%)	98.90	98.76	102.21	98.59	98.43	99.22
水道料金(税抜:千円)	5,799,937	5,715,987	5,776,543	5,710,523	5,584,286	5,520,065
対前年度比(%)	98.65	98.55	101.06	98.86	97.79	98.85



◇有収水量と下水道使用料の推移(令和4年度は決算見込、5年度は当初予算)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
有収水量(千 $m^3$ )	41,342	41,275	42,051	41,686	41,168	40,897
対前年度比(%)	99.43	99.84	101.88	99.13	98.76	99.34
下水道使用料(税抜:千円)	7,538,690	7,518,402	7,535,620	7,467,054	7,327,919	7,250,572
対前年度比(%)	99.10	99.73	100.23	99.09	98.14	98.94





Ⅲ 水道事業会計

1 令和5年度当初予算(案) 総括表

(1) 収益的収支

(単位：千円)

科 目	令和5年度 当初予算(案)①	令和4年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
<b>水道事業収益</b>	<b>7,559,090</b>	<b>7,656,122</b>	<b>△ 97,032</b>	<b>△ 1.27</b>
<b>営業収益</b>	<b>6,514,912</b>	<b>6,591,100</b>	<b>△ 76,188</b>	<b>△ 1.16</b>
給水収益	6,072,575	6,178,108	△ 105,533	△ 1.71
受託工事収益	13,632	11,705	1,927	16.46
受託事業収益	322	791	△ 469	△ 59.29
その他営業収益	428,383	400,496	27,887	6.96
<b>営業外収益</b>	<b>1,039,792</b>	<b>1,063,203</b>	<b>△ 23,411</b>	<b>△ 2.20</b>
※ 受取利息	100	100	0	—
※ 一般会計負担金	21,630	22,690	△ 1,060	△ 4.67
水道加入金	182,792	190,531	△ 7,739	△ 4.06
長期前受金戻入	832,092	846,750	△ 14,658	△ 1.73
雑収益	3,178	3,132	46	1.47
<b>特別利益</b>	<b>4,386</b>	<b>1,819</b>	<b>2,567</b>	<b>141.12</b>
固定資産売却益	4,385	1,818	2,567	141.20
過年度損益修正益	1	1	0	—
<b>水道事業費</b>	<b>7,210,894</b>	<b>7,158,157</b>	<b>52,737</b>	<b>0.74</b>
<b>営業費用</b>	<b>6,464,499</b>	<b>6,406,916</b>	<b>57,583</b>	<b>0.90</b>
原水及び浄水費	678,869	592,009	86,860	14.67
配水及び給水費	995,572	861,156	134,416	15.61
受託工事費	20,820	18,782	2,038	10.85
業務費	471,574	555,079	△ 83,505	△ 15.04
総係費	288,667	294,770	△ 6,103	△ 2.07
減価償却費	3,712,883	3,725,575	△ 12,692	△ 0.34
資産減耗費	296,109	359,540	△ 63,431	△ 17.64
その他営業費用	5	5	0	—
<b>営業外費用</b>	<b>733,890</b>	<b>738,798</b>	<b>△ 4,908</b>	<b>△ 0.66</b>
支払利息及び企業債取扱諸費	560,720	588,760	△ 28,040	△ 4.76
消費税及び地方消費税	173,170	150,038	23,132	15.42
<b>特別損失</b>	<b>11,505</b>	<b>11,443</b>	<b>62</b>	<b>0.54</b>
固定資産売却損	305	243	62	25.51
過年度損益修正損	11,200	11,200	0	—
<b>予備費</b>	<b>1,000</b>	<b>1,000</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
予備費	1,000	1,000	0	—
<b>差 引 損 益</b>	<b>348,196</b>	<b>497,965</b>	<b>△ 149,769</b>	<b>△ 30.08</b>

(税抜純利益)

(98,377)

(208,708)

(△ 110,331)



## (2) 資本的収支

(単位：千円)

科 目	令和5年度 当初予算(案)①	令和4年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
<b>資本的收入</b>	<b>3,221,459</b>	<b>3,199,810</b>	<b>21,649</b>	<b>0.68</b>
<b>企業債</b>	2,418,300	2,587,400	△ 169,100	△ 6.54
企業債	2,418,300	2,587,400	△ 169,100	△ 6.54
<b>他会計出資金</b>	76,388	81,769	△ 5,381	△ 6.58
※ 他会計出資金	76,388	81,769	△ 5,381	△ 6.58
<b>他会計負担金</b>	8,300	14,900	△ 6,600	△ 44.30
他会計負担金	8,300	14,900	△ 6,600	△ 44.30
<b>固定資産売却代金</b>	2,433	2,806	△ 373	△ 13.29
固定資産売却代金	2,433	2,806	△ 373	△ 13.29
<b>国庫補助金</b>	585,610	475,900	109,710	23.05
国庫補助金	585,610	475,900	109,710	23.05
<b>工事負担金</b>	130,428	37,035	93,393	252.17
工事負担金	130,428	37,035	93,393	252.17
<b>資本的支出</b>	<b>6,766,641</b>	<b>7,032,911</b>	<b>△ 266,270</b>	<b>△ 3.79</b>
<b>建設改良費</b>	4,270,613	4,545,099	△ 274,486	△ 6.04
配水施設事務費	199,564	198,585	979	0.49
配水施設費	3,831,777	4,106,077	△ 274,300	△ 6.68
設備費	14,404	8,250	6,154	74.59
固定資産購入費	194,570	208,263	△ 13,693	△ 6.57
建設負担金	26,011	23,924	2,087	8.72
スマートメーター関連購入費	4,287	0	4,287	皆増
<b>企業債償還金</b>	2,496,028	2,487,812	8,216	0.33
企業債償還金	2,496,028	2,487,812	8,216	0.33
<b>差 引</b>	<b>△ 3,545,182</b>	<b>△ 3,833,101</b>	<b>287,919</b>	<b>7.51</b>

補てん財源	3,545,182	3,833,101	△ 287,919	△ 7.51
当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額	300,749	343,996	△ 43,247	△ 12.57
過年度分損益勘定留保資金	919,510	1,256,340	△ 336,829	△ 26.81
当年度分損益勘定留保資金	2,324,923	2,232,765	92,157	4.13

〔参考〕

	令和5年度①	令和4年度②	差引(①-②)
※一般会計繰入金	98,018	104,459	△ 6,441

## 2 令和5年度 建設改良事業

水道事業会計（建設改良費）			42億7千百万円
	I	水道施設の耐震化	3,340,563千円
		(1) 配水幹線の整備	2,380,735千円
		(2) 配水管網の整備	156,192千円
		(3) 老朽水道管の整備	640,336千円
		(4) 老朽基幹施設の改良	163,300千円
	II	危機管理体制の強化	68,628千円
		(1) 防災拠点機能の整備	68,628千円
	III	水源の水質向上	137,938千円
		(1) 配水ブロックの整備	137,938千円
	IV	その他	723,484千円
		(1) 他工事関連事業	284,648千円
		(2) 人件費、事務費等	438,836千円

【建設改良費対前年度比較表】

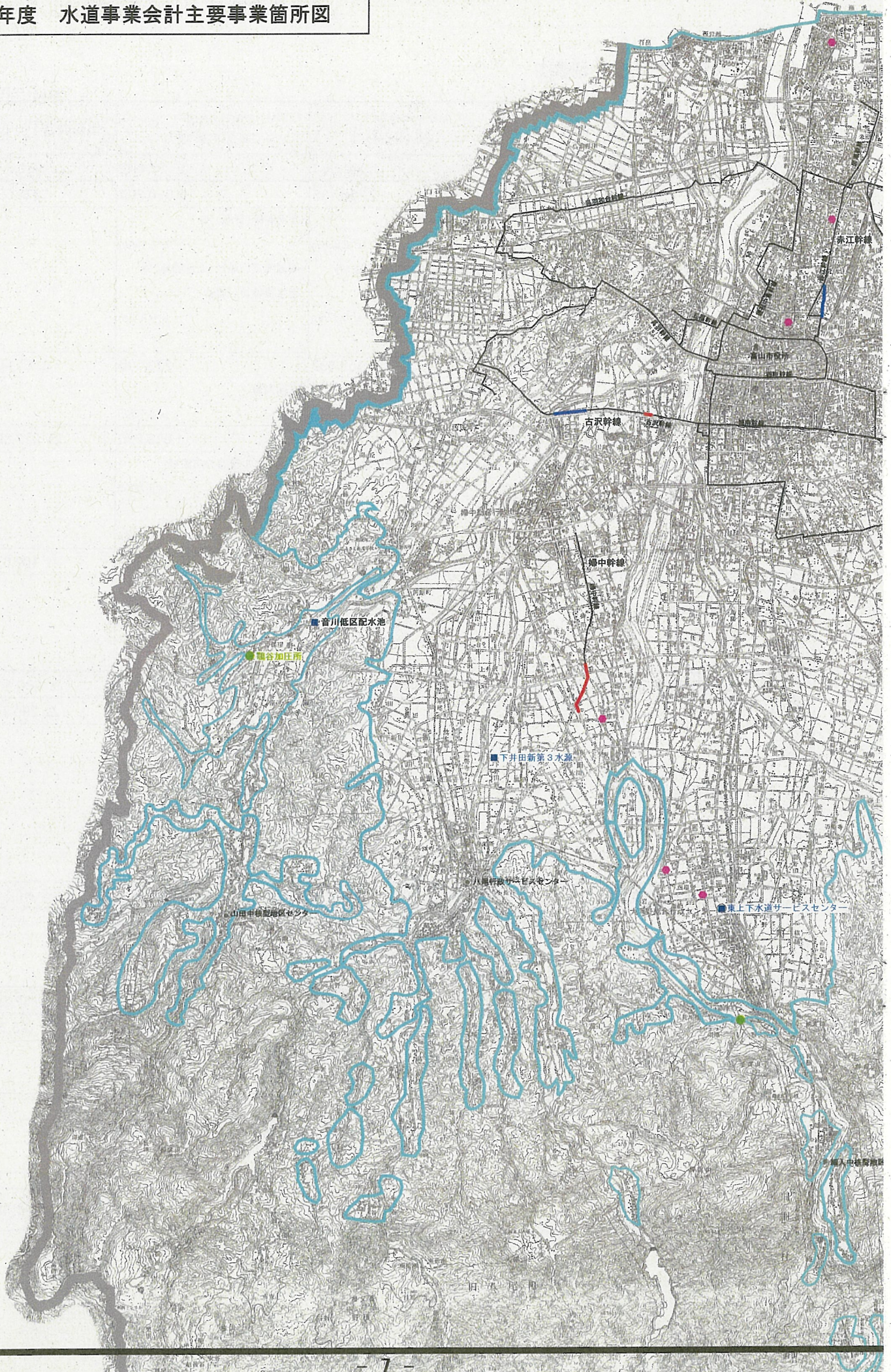
(単位:千円)

事業名		令和5年度 当初予算①	令和4年度 当初予算①	比較増減①-②
<b>I 水道施設の耐震化</b>		<b>3,340,563</b>	<b>3,523,408</b>	<b>△ 182,845</b>
(1) 配水幹線の整備	事業費	2,380,735	2,010,200	370,535
	概要	・北部幹線(更新)外 L=2.83Km ・開削部実施設計(中部幹線)外 ・新水橋幹線(新設) L=0.37Km	・北部幹線(更新)外 L=4.45Km ・開削部実施設計(北部幹線)外 ・新水橋幹線(新設) L=0.25Km	
(2) 配水管網の整備	事業費	156,192	222,000	△ 65,808
	概要	・管網整備 L=1.86Km	・管網整備 L=2.42Km	
(3) 老朽水道管の整備	事業費	640,336	1,018,230	△ 377,894
	概要	・老朽ビニル管等の布設替 L=3.28Km ・老朽添架管の架替 L=0.03Km	・老朽ビニル管等の布設替 L=6.72Km ・老朽添架管の架替 L=0.07Km	
(4) 老朽基幹施設の改良	事業費	163,300	272,978	△ 109,678
	概要	・東上下水道サービスセンター中央監視設備移設 外	・東上下水道サービスセンター中央監視設備移設 外 ・上滝浄水場外の更新実施設計 外	
<b>II 危機管理体制の強化</b>		<b>68,628</b>	<b>358,979</b>	<b>△ 290,351</b>
(1) 防災拠点機能の整備	事業費	68,628	358,979	△ 290,351
	概要	・防災拠点管路の整備 L=0.42Km	・防災拠点管路の整備 L=1.50Km ・遠方監視装置の更新 ・応急給水用資材の購入	
<b>III 水源の水質向上</b>		<b>137,938</b>	<b>91,574</b>	<b>46,364</b>
(1) 配水ブロックの整備	事業費	137,938	91,574	46,364
	概要	・細入配水ブロックの整備 ・八尾配水ブロックの整備	・細入配水ブロックの整備 ・八尾配水ブロックの整備	
<b>IV その他</b>		<b>723,484</b>	<b>571,138</b>	<b>152,346</b>
(1) 他工事関連事業	事業費	284,648	138,945	145,703
	概要	・物件移転補償に伴う布設替 L=2.45Km	・物件移転補償に伴う布設替 L=1.37Km	
(2) 人件費、事務費等	事業費	438,836	432,193	6,643
	概要	・人件費、事務費、固定資産購入費等	・人件費、事務費、固定資産購入費等	
<b>建設改良費 合計</b>		<b>4,270,613</b>	<b>4,545,099</b>	<b>△ 274,486</b>

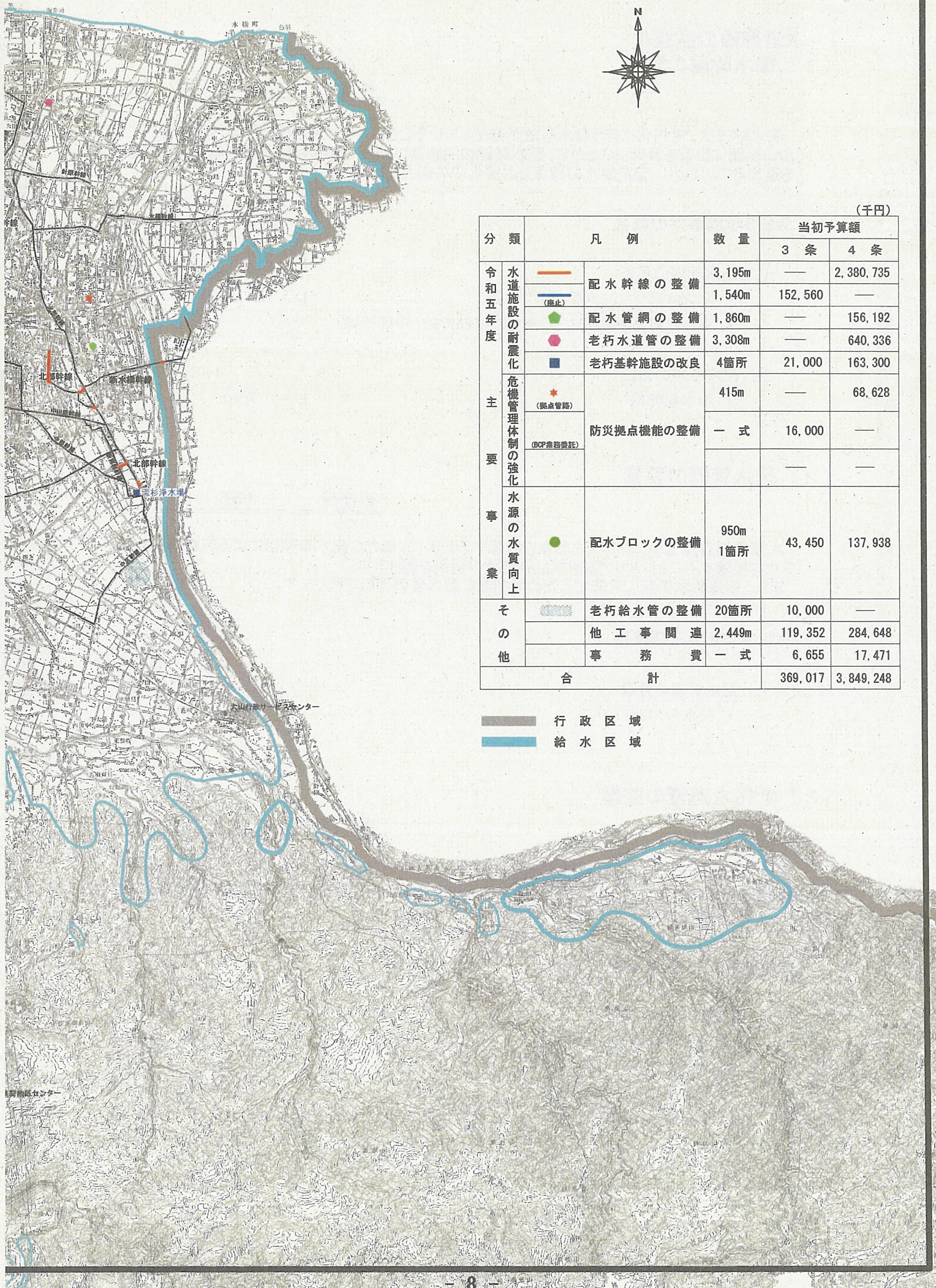
水道事業会計(建設改良費)



令和5年度 水道事業会計主要事業箇所図







(千円)

分類	凡例	数量	当初予算額	
			3条	4条
令和五年度	配水幹線の整備 (廃止)	3,195m	—	2,380,735
		1,540m	152,560	—
	配水管網の整備	1,860m	—	156,192
	老朽水道管の整備	3,308m	—	640,336
	老朽基幹施設の改良	4箇所	21,000	163,300
主要事業	(拠点管路) (BCP業務委託)	415m	—	68,628
		— 式	16,000	—
	配水ブロックの整備	950m 1箇所	43,450	137,938
その他	老朽給水管の整備	20箇所	10,000	—
		2,449m	119,352	284,648
	事務費	— 式	6,655	17,471
合計			369,017	3,849,248

行政区域  
 給水区域



## I 水道施設の耐震化

### (1) 配水幹線の整備

事業費 2,380,735 千円

配水幹線は、老朽化に伴う漏水事故が発生していることに加え、大規模地震発生時においても広い範囲に影響を及ぼすことから、配水幹線の更新及び新たな配水幹線網の整備による耐震化を進めることにより、安定給水の確保と耐震化率の向上を図ります。

#### 令和5年度事業の概要

(ア)配水幹線の更新	2,182,310千円
・ 北部幹線、古沢幹線、婦中幹線	L=2.83km
・ 実施設計業務委託(古沢幹線、南部幹線、中部幹線)	一式
(イ)配水幹線の新設	198,425千円
・ 新水橋幹線	L=0.37km

### (2) 配水管網の整備

事業費 156,192 千円

大規模地震発生時においても給水を確保するために、新たな配水管整備による配水管のループ化を推進することにより、強靱な水道施設の構築を図ります。  
また、新規給水要望に対応するための新たな配水管の整備を図ります。

#### 令和5年度事業の概要

(ア)配水管網の整備	156,192千円
・ 配水管の新設	L=1.86km

### (3) 老朽水道管の整備

事業費 640,336 千円

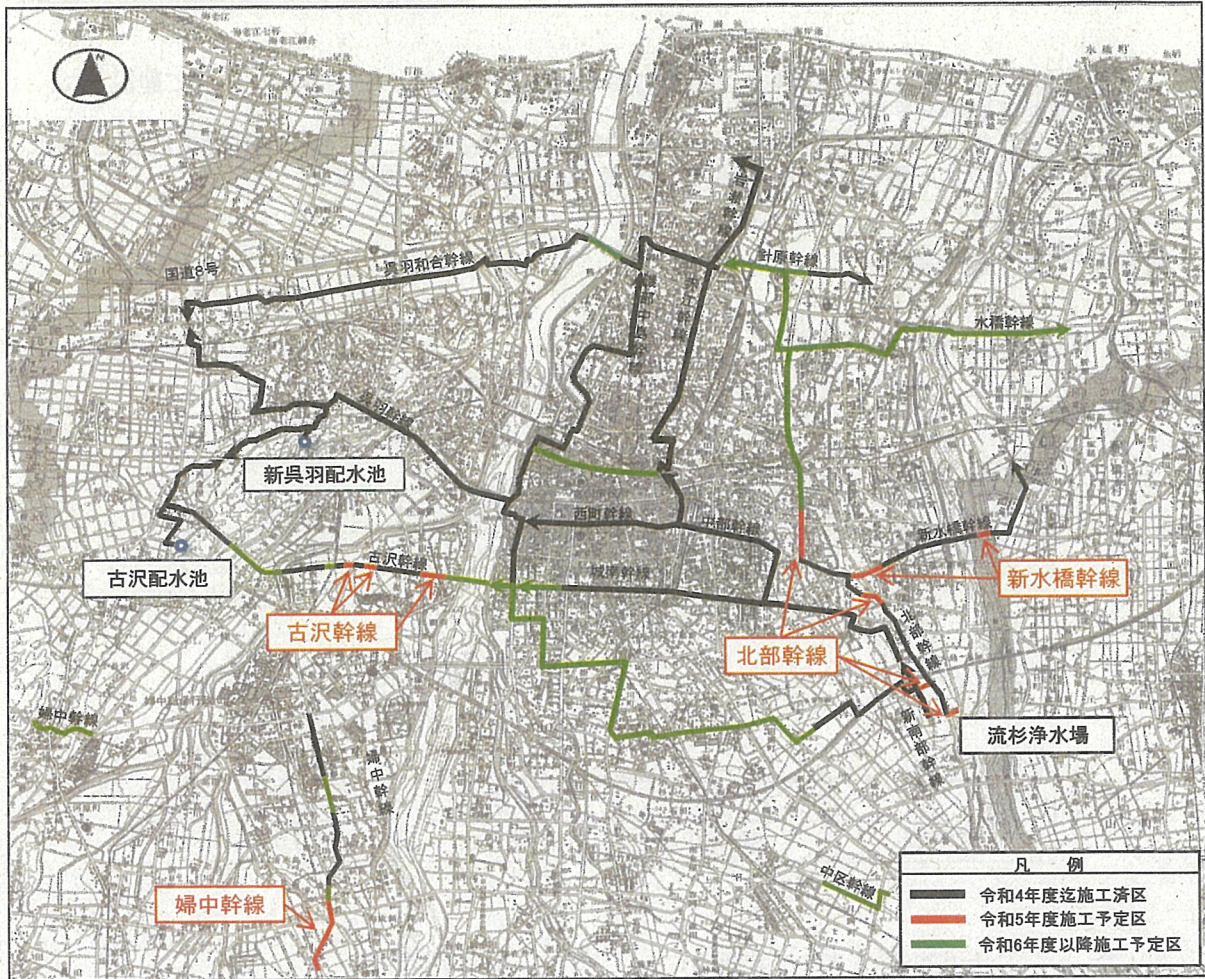
老朽水道管について、耐用年数、布設経過年数、漏水事故発生状況等を考慮の上、計画的に更新を進めるとともに、大規模地震発生時においても給水を確保するために耐震化を推進することにより、強靱な水道施設の構築を図ります。

#### 令和5年度事業の概要

(ア)老朽水道管の整備	
①老朽ビニル管等の布設替	616,246千円
・ 老朽管布設替工事	L=3.28km
②老朽添架管の架替	24,090千円
・ 添架管架替工事	L=0.03km



## 令和5年度 配水幹線整備箇所図



## 配水幹線整備の推移

		H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08
第2次 中長期ビジョン	耐震管延長(km)	43.0	50.3	55.7	59.7	63.8	69.1	73.4	78.2	82.9	88.2	94.7
	全体延長(km)	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3
	耐震化率(%)	42.0%	49.2%	54.4%	58.4%	62.4%	67.5%	71.7%	76.4%	81.0%	86.2%	92.6%
第2次 中長期ビジョン 見直し計画	耐震管延長(km)							72.2	77.1	82.6	88.5	94.7
	全体延長(km)							102.3	102.3	102.3	102.3	102.3
	耐震化率(%)							70.6%	75.4%	80.7%	86.5%	92.6%
実績及び 実績見込	耐震管延長(km)	41.0	53.1	57.5	60.6	63.8	67.1	72.2	75.4			
	全体延長(km)	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3			
	耐震化率(%)	40.1%	51.9%	56.2%	59.2%	62.4%	65.6%	70.6%	73.7%			

## 配水幹線の施工状況





#### (4) 老朽基幹施設の改良

事業費 163,300 千円

配水池や浄水場などの基幹施設は、その多くが昭和30年代から50年代にかけて建設され、大規模な更新時代を迎えています。

このため、将来の水需要を見極めた基幹施設の再構築とともに、施設の耐震化を計画的に進めることにより、災害に強く、より質の高い水道水の安定供給を図ります。

#### 令和5年度事業の概要

(ア)老朽基幹施設の更新 163,300千円

- 東上下水道サービスセンター(大沢野地域)中央監視設備移設工事  
【R4～R5継続:2年目】

継続事業費 (単位:千円)

	R4年度	R5年度	合計
事業費	192,600	43,900	236,500

- 流杉浄水場(富山地域) 中央監視設備更新工事  
【R5～R6継続:1年目】

継続事業費 (単位:千円)

	R5年度	R6年度	合計
事業費	88,000	132,000	220,000

- 下井田新第3水源(八尾地域) 場内整備工事  
場内配管工事  
機械設備工事

- 音川低区配水池(婦中地域) 場内整備工事

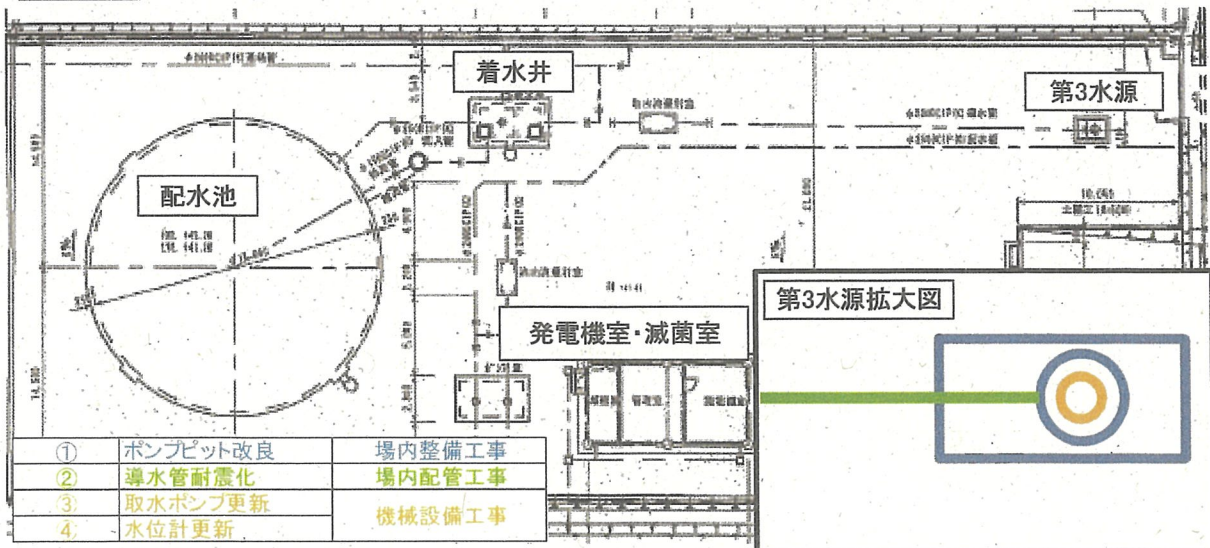
# 下井田新第3水源施設更新工事

## (ア)老朽基幹施設の更新

位置図



平面図





## Ⅱ 危機管理体制の強化

### (1) 防災拠点機能の整備

事業費 68,628 千円

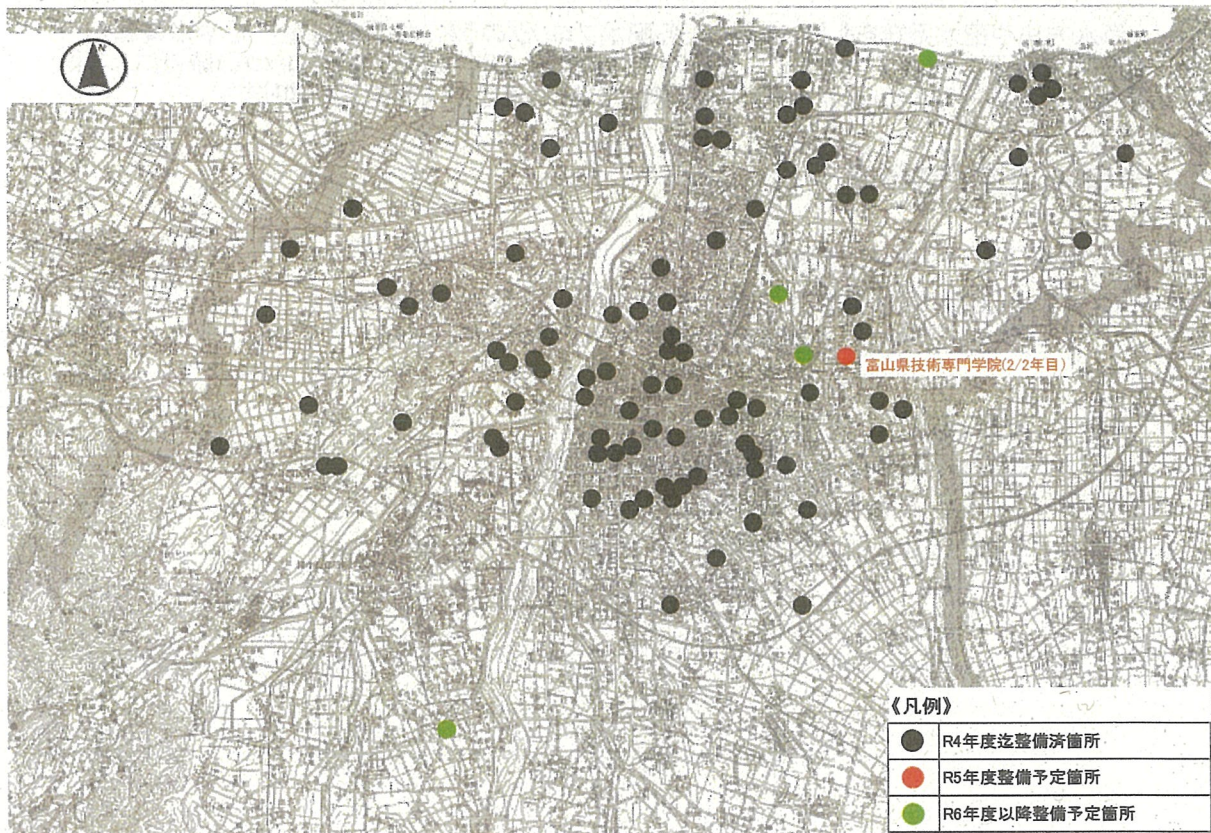
大規模地震発生時に求められる復旧活動の充実を図るため、配水幹線と避難所等の給水拠点を結ぶ管路(配水支管)の耐震化を優先的に推進するとともに、活動拠点の管理機能を充実させることにより、防災拠点の危機管理機能の強化と充実を図ります。

#### 令和5年度事業の概要

(ア) 防災拠点管路の整備	68,628千円
・ 給水拠点接続管耐震化工事(富山地域)	L=0.42km

## 防災拠点機能の整備箇所図

### (ア)防災拠点管路の整備



### 防災拠点機能整備の推移

		H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08
第2次 中長期ビジョン	整備箇所数	45	55	68	79	87	89	93	98	102	107	108
	全体箇所数	177	177	177	177	177	177	177	177	177	177	177
	整備率(%)	25.4%	31.1%	38.4%	44.6%	49.2%	50.3%	52.5%	55.4%	57.6%	60.5%	61.0%
第2次 中長期ビジョン 見直し計画	整備箇所数							93	94	95	97	98
	全体箇所数							177	177	177	177	177
	整備率(%)							52.5%	53.1%	53.7%	54.8%	55.4%
実績及び 実績見込	整備箇所数	45	55	64	79	86	89	93	94			
	全体箇所数	177	177	177	177	177	177	177	177			
	整備率(%)	25.4%	31.1%	36.2%	44.6%	48.6%	50.3%	52.5%	53.1%			

### 整備計画

令和4年度迄	整備済箇所	93箇所	合計 98箇所
令和5年度	富山県技術専門学院 (2/2年目)	1箇所	
令和6年度 ～令和8年度	整備予定箇所	4箇所	



### Ⅲ 水源の水質向上 (1) 配水ブロックの整備

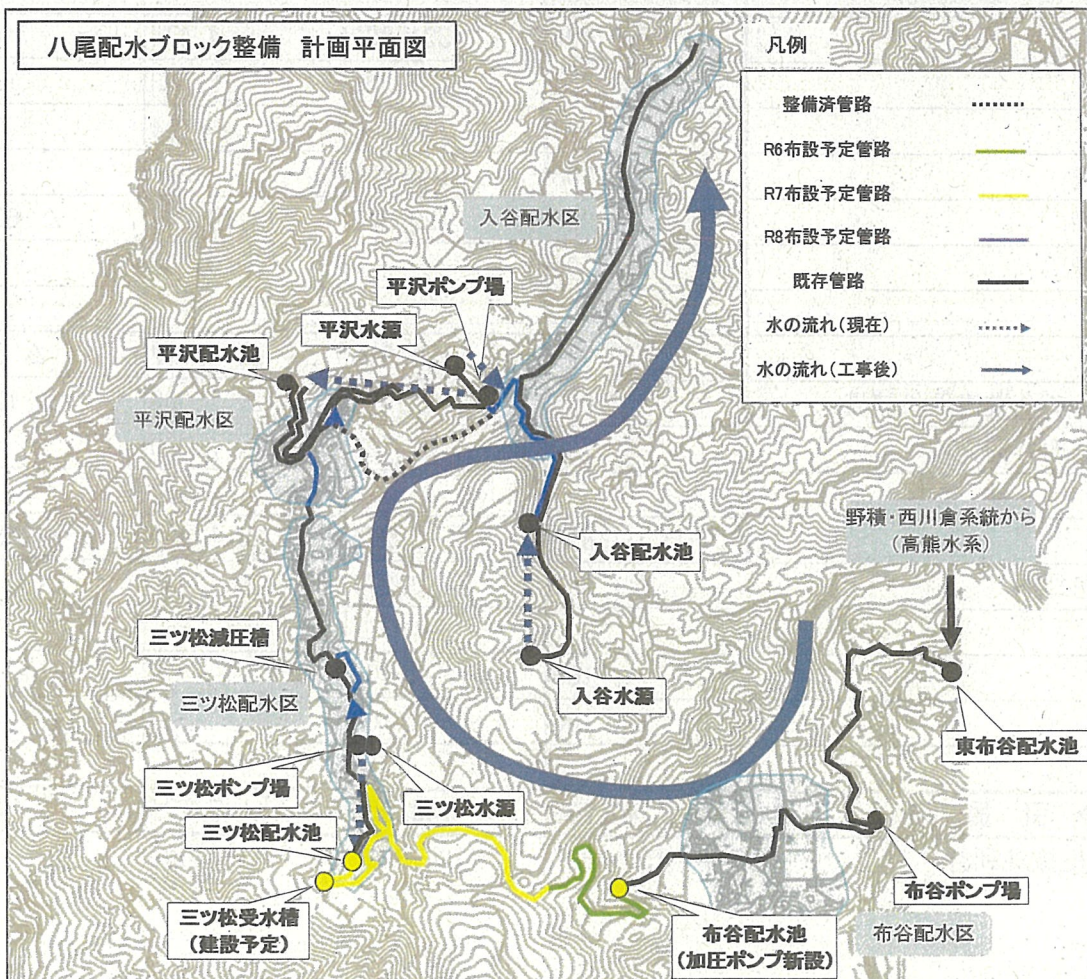
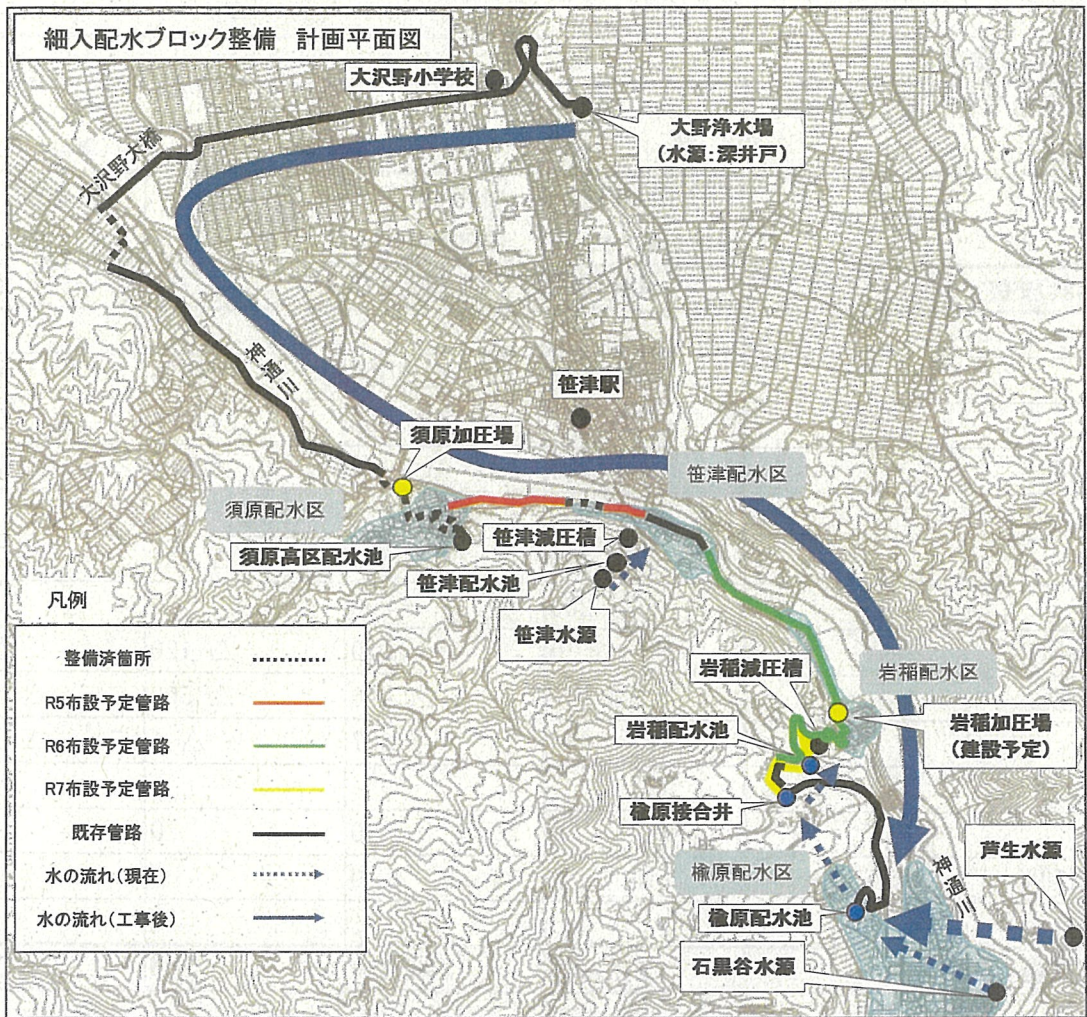
事業費 137,938 千円

浄水方法や配水系統をもとに大別した各配水ブロックのうち、水源の水量不足や水質悪化への対応が必要な配水ブロックについて、浄水施設能力の増強や、隣接ブロックの統合による再構築を計画的に進めることにより、安全で質の高い水道水の安定供給を図ります。

#### 令和5年度事業の概要

(ア)細入配水ブロックの整備		137,938千円
・ 須原地区配水管布設工事	L=0.62km	
・ 西笹津地区配水管布設替工事	L=0.33km	
(イ)八尾配水ブロックの整備		
・ 三ツ松受水槽用地公共嘱託登記業務委託	一式	
・ 三ツ松受水槽用地測量業務委託	一式	
・ 布谷配水池外改良実施設計業務委託	一式	







#### IV 工業用水道事業会計

##### 1 令和5年度当初予算(案)総括表

(1) 収益的収支

(単位：千円)

科 目	令和5年度 当初予算(案)①	令和4年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
<b>工業用水道事業収益</b>	<b>484,086</b>	<b>477,371</b>	<b>6,715</b>	<b>1.41</b>
<b>営業収益</b>	<b>459,347</b>	<b>452,008</b>	<b>7,339</b>	<b>1.62</b>
給水収益	453,247	452,008	1,239	0.27
受託工事収益	6,100	0	6,100	皆増
<b>営業外収益</b>	<b>24,739</b>	<b>25,363</b>	<b>△ 624</b>	<b>△ 2.46</b>
※ 受取利息	200	200	0	—
一般会計負担金	0	120	△ 120	皆減
長期前受金戻入	23,903	24,406	△ 503	△ 2.06
雑収益	636	637	△ 1	△ 0.16
<b>特別利益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
その他特別利益	0	0	0	
<b>工業用水道事業費</b>	<b>337,356</b>	<b>336,416</b>	<b>940</b>	<b>0.28</b>
<b>営業費用</b>	<b>305,696</b>	<b>301,222</b>	<b>4,474</b>	<b>1.49</b>
取配水費	143,556	127,368	16,188	12.71
業務費	16,376	16,232	144	0.89
減価償却費	128,708	128,420	288	0.22
資産減耗費	10,956	29,202	△ 18,246	△ 62.48
受託工事費	6,100	0	6,100	皆増
<b>営業外費用</b>	<b>29,708</b>	<b>31,820</b>	<b>△ 2,112</b>	<b>△ 6.64</b>
支払利息及び企業債取扱諸費	7,999	9,091	△ 1,092	△ 12.01
消費税及び地方消費税	21,709	22,729	△ 1,020	△ 4.49
<b>特別損失</b>	<b>1,852</b>	<b>3,274</b>	<b>△ 1,422</b>	<b>△ 43.43</b>
固定資産売却損	1,852	3,274	△ 1,422	△ 43.43
<b>予備費</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
予備費	100	100	0	—
<b>差引損益</b>	<b>146,730</b>	<b>140,955</b>	<b>5,775</b>	<b>4.10</b>
(税抜純利益)	(139,760)	(134,620)	(5,140)	

## (2) 資本的収支

(単位：千円)

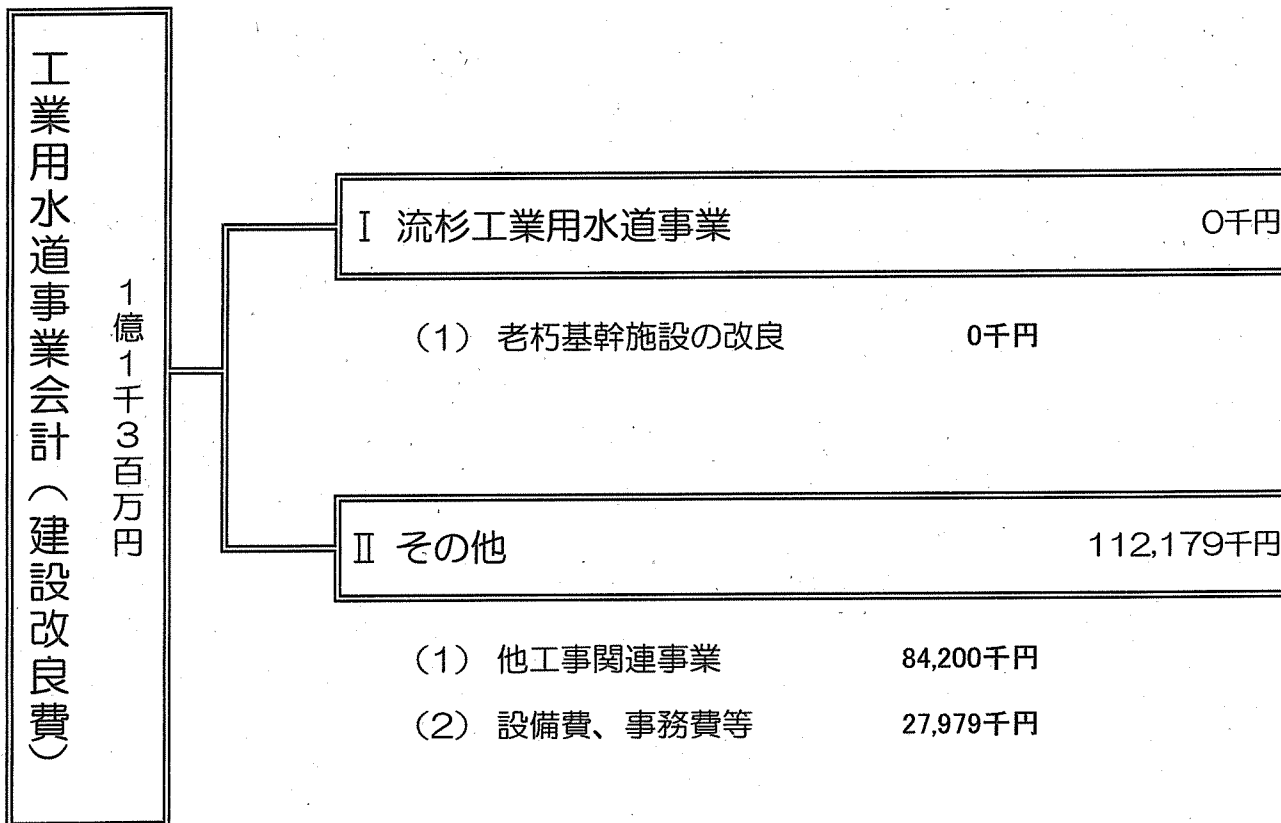
科 目	令和5年度 当初予算(案)①	令和4年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
<b>資本的収入</b>	<b>4</b>	<b>20,017</b>	<b>△ 20,013</b>	<b>△ 99.98</b>
<b>企業債</b>	0	0	0	—
企業債	0	0	0	—
<b>固定資産売却代金</b>	4	17	△ 13	△ 76.47
固定資産売却代金	4	17	△ 13	△ 76.47
<b>補助金</b>	0	0	0	—
国庫補助金	0	0	0	—
<b>工事負担金</b>	0	20,000	△ 20,000	皆減
工事負担金	0	20,000	△ 20,000	皆減
<b>資本的支出</b>	<b>191,466</b>	<b>225,936</b>	<b>△ 34,470</b>	<b>△ 15.26</b>
<b>建設改良費</b>	112,179	125,302	△ 13,123	△ 10.47
設備費	27,979	45,302	△ 17,323	△ 38.24
取配水施設費	84,200	80,000	4,200	5.25
<b>企業債償還金</b>	79,287	100,634	△ 21,347	△ 21.21
企業債償還金	79,287	100,634	△ 21,347	△ 21.21
<b>差 引</b>	<b>△ 191,462</b>	<b>△ 205,919</b>	<b>14,457</b>	<b>7.02</b>

補てん財源	191,462	205,919	△ 14,457	△ 7.02
当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額	10,196	9,568	628	6.56
過年度分損益勘定留保資金	181,266	196,351	△ 15,085	△ 7.68

[参考]

	令和5年度①	令和4年度②	差引(①-②)
※一般会計繰入金	0	120	△ 120

## 2 令和5年度 建設改良事業



【建設改良費対前年度比較表】

(単位:千円)

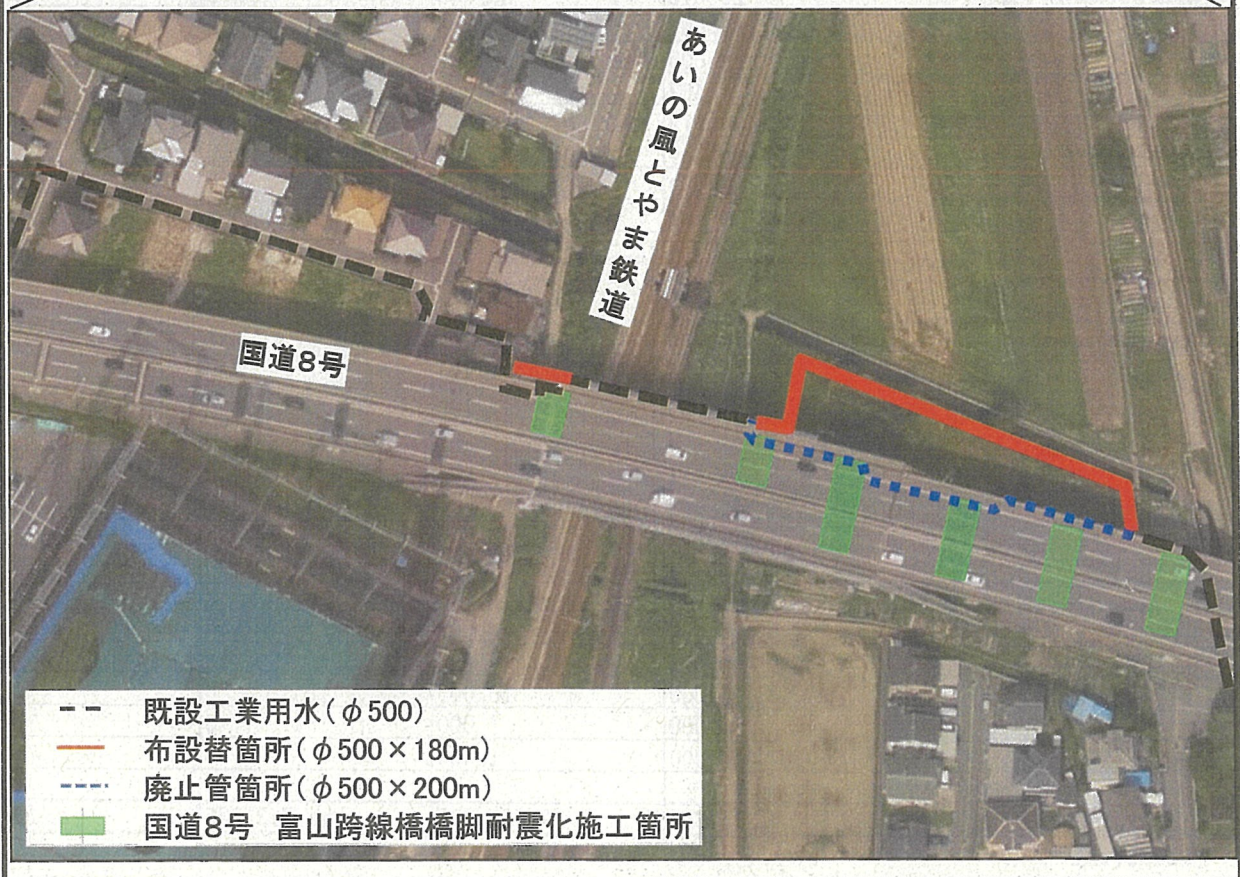
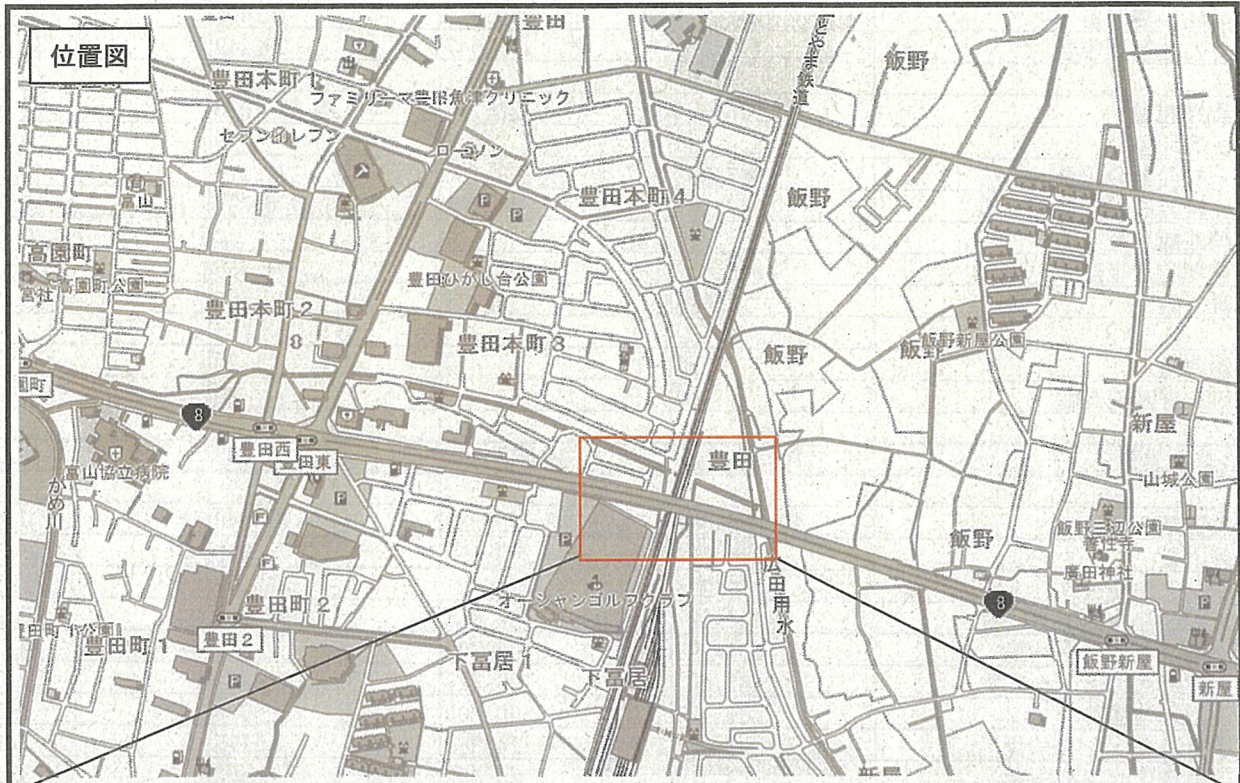
事業名		令和5年度 当初予算①	令和4年度 当初予算②	比較増減①-②	
工業用水道事業会計（建設改良費）	<b>I 流杉工業用水道事業</b>				
	(1) 老朽基幹施設の改良	事業費			
		概要			
	<b>II その他</b>				
	(1) 他工事関連事業	事業費	84,200	80,000	4,200
		概要	・物件移転補償に伴う布設替 L=0.18Km	・物件移転補償に伴う布設替 L=0.20Km ・実施設計(あいの風とやま鉄道横断)	
(2) 設備費、事務費等	事業費	27,979	45,302	△ 17,323	
	概要	・固定資産購入費、事務費等	・固定資産購入費、事務費等		
<b>建設改良費 合計</b>		<b>112,179</b>	<b>125,302</b>	<b>△ 13,123</b>	



I その他  
 (1) 他工事関連事業

事業費 84,200 千円

国道8号豊田新屋立体事業において支障となる配水管の移転に係る工事を実施します。





V 公共下水道事業会計

1 令和5年度当初予算(案)総括表

(1) 収益的収支

(単位:千円)

科 目	令和5年度 当初予算(案)①	令和4年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
<b>下水道事業収益</b>	<b>15,781,897</b>	<b>16,653,886</b>	<b>△ 871,989</b>	<b>△ 5.24</b>
<b>営業収益</b>	<b>11,745,143</b>	<b>12,033,132</b>	<b>△ 287,989</b>	<b>△ 2.39</b>
※ 下水道収益	7,975,629	8,186,200	△ 210,571	△ 2.57
※ 一般会計負担金	3,404,602	3,432,266	△ 27,664	△ 0.81
※ 受託事業収益	247,314	236,619	10,695	4.52
※ その他営業収益	117,598	178,047	△ 60,449	△ 33.95
<b>営業外収益</b>	<b>4,036,734</b>	<b>4,620,754</b>	<b>△ 584,020</b>	<b>△ 12.64</b>
※ 受取利息	100	100	0	0.00
※ 一般会計負担金	667,963	1,139,140	△ 471,177	△ 41.36
※ 一般会計補助金	47,301	54,198	△ 6,897	△ 12.73
※ 国庫補助金	0	0	0	0.00
※ 長期前受金戻入	3,316,352	3,350,708	△ 34,356	△ 1.03
※ 雑収益	5,018	76,608	△ 71,590	△ 93.45
<b>特別利益</b>	<b>20</b>	<b>0</b>	<b>20</b>	<b>0.00</b>
※ 固定資産売却益	20	0	20	0.00
<b>下水道事業費</b>	<b>14,394,032</b>	<b>14,552,685</b>	<b>△ 158,653</b>	<b>△ 1.09</b>
<b>営業費用</b>	<b>12,806,881</b>	<b>12,745,233</b>	<b>61,648</b>	<b>0.48</b>
管渠費	206,378	280,953	△ 74,575	△ 26.54
ポンプ場費	355,228	270,021	85,207	31.56
浜黒崎浄化センター費	1,403,027	1,324,658	78,369	5.92
水橋浄化センター費	177,396	169,709	7,687	4.53
大沢野浄化センター費	161,591	123,320	38,271	31.03
大山処理場費	61,129	60,200	929	1.54
小見浄化センター費	15,064	14,889	175	1.18
山田浄化センター費	29,315	25,852	3,463	13.40
楡原浄化センター費	13,592	13,308	284	2.13
南部地区浄化センター費	8,605	8,639	△ 34	△ 0.39
流域下水道管理費負担金	812,407	825,669	△ 13,262	△ 1.61
水洗化促進費	24,972	23,715	1,257	5.30
排水設備指導費	32,704	36,430	△ 3,726	△ 10.23
業務費	269,483	289,027	△ 19,544	△ 6.76
総係費	176,660	199,213	△ 22,553	△ 11.32
減価償却費	8,644,718	8,695,394	△ 50,676	△ 0.58
資産減耗費	176,342	152,758	23,584	15.44
地域し尿処理施設費	10,012	9,791	221	2.26
農業集落排水事業費	225,598	219,063	6,535	2.98
林業集落排水事業費	1,560	1,524	36	2.36
富山八尾中核工業団地排水施設管理費	1,100	1,100	0	0.00
<b>営業外費用</b>	<b>1,570,137</b>	<b>1,790,452</b>	<b>△ 220,315</b>	<b>△ 12.30</b>
※ 支払利息及び企業債取扱諸費	1,338,419	1,509,912	△ 171,493	△ 11.36
※ 消費税及び地方消費税	229,718	277,540	△ 47,822	△ 17.23
※ 雑支出	2,000	3,000	△ 1,000	△ 33.33
<b>特別損失</b>	<b>16,014</b>	<b>16,000</b>	<b>14</b>	<b>0.09</b>
※ 固定資産売却損	14	0	14	皆増
※ 過年度損益修正損	16,000	16,000	0	0.00
<b>予備費</b>	<b>1,000</b>	<b>1,000</b>	<b>0</b>	<b>0.00</b>
※ 予備費	1,000	1,000	0	0.00
<b>差引損益</b>	<b>1,387,865</b>	<b>2,101,201</b>	<b>△ 713,336</b>	<b>△ 33.95</b>
(税抜純利益)	(1,137,630)	(1,870,890)	(△ 733,260)	

## (2) 資本の収支

(単位:千円)

科 目	令和5年度 当初予算(案)①	令和4年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
<b>資本の収入</b>	<b>7,390,340</b>	<b>7,428,855</b>	<b>△ 38,515</b>	<b>△ 0.52</b>
<b>企業債</b>	3,565,012	3,554,840	10,172	0.29
企業債	2,936,200	2,922,000	14,200	0.49
資本費平準化債	0	0	0	
借換債	628,812	632,840	△ 4,028	△ 0.64
<b>国庫補助金</b>	1,819,065	1,943,230	△ 124,165	△ 6.39
国庫補助金	1,819,065	1,943,230	△ 124,165	△ 6.39
<b>他会計出資金</b>	1,850,176	1,786,620	63,556	3.56
※ 他会計出資金	1,850,176	1,786,620	63,556	3.56
<b>負担金及び分担金</b>	151,586	139,248	12,338	8.86
工事負担金	60,800	49,100	11,700	23.83
下水道整備負担金	90,786	90,148	638	0.71
<b>貸付金返還金</b>	4,478	4,917	△ 439	△ 8.93
貸付金返還金	4,478	4,917	△ 439	△ 8.93
<b>固定資産売却代金</b>	23	0	23	皆増
固定資産売却代金	23	0	23	皆増
<b>資本の支出</b>	<b>14,677,954</b>	<b>14,978,627</b>	<b>△ 300,673</b>	<b>△ 2.01</b>
<b>建設改良費</b>	5,605,572	5,607,074	△ 1,502	△ 0.03
公共下水道築造事務費	162,269	135,867	26,402	19.43
公共下水道築造費	3,917,500	3,754,000	163,500	4.36
流域関連公共下水道築造事務費	15,710	24,864	△ 9,154	△ 36.82
流域関連公共下水道築造費	381,800	855,000	△ 473,200	△ 55.35
特定環境保全公共下水道築造事務費	5,153	6,224	△ 1,071	△ 17.21
特定環境保全公共下水道築造費	182,000	100,500	81,500	81.09
流域関連特定環境保全公共下水道築造事務費	8,146	8,157	△ 11	△ 0.13
流域関連特定環境保全公共下水道築造費	154,700	262,000	△ 107,300	△ 40.95
単独改良費	177,500	167,000	10,500	6.29
受益者負担金徴収事務費	13,484	47,082	△ 33,598	△ 71.36
固定資産購入費	489,770	172,180	317,590	184.45
建設負担金	97,540	74,200	23,340	31.46
<b>企業債償還金</b>	9,065,382	9,364,553	△ 299,171	△ 3.19
企業債償還金	8,436,570	8,731,713	△ 295,143	△ 3.38
企業債償還金(一括償還分)	628,812	632,840	△ 4,028	△ 0.64
<b>投資</b>	7,000	7,000	0	0.00
長期貸付金	7,000	7,000	0	0.00
<b>差 引</b>	<b>△ 7,287,614</b>	<b>△ 7,549,772</b>	<b>262,158</b>	<b>3.47</b>
<b>補てん財源</b>	7,287,614	7,549,772	△ 262,158	△ 3.47
当年度分消費税及び地方消費税資本の収支調整額	303,247	294,359	8,888	3.02
過年度分損益勘定留保資金	2,104,830	2,146,227	△ 41,397	△ 1.93
当年度分損益勘定留保資金	4,879,537	5,109,186	△ 229,649	△ 4.49

〔参考〕

	令和5年度①	令和4年度②	差引(①-②)
※一般会計繰入金	5,970,042	6,412,224	△ 442,182



## 2 令和5年度建設改良事業

公共下水道事業会計（建設改良費）

56億6百万円

### I 公共下水道（污水）の整備 2,488,640千円

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| (1) 下水道施設（管渠）の改築    | 1,095,800千円 |
| (2) 下水道施設（処理場）の改築   | 847,040千円   |
| (3) 資源の循環           | 11,000千円    |
| (4) 処理場の統廃合と再編      | 0千円         |
| (5) 農林水産部による処理場の統廃合 | 102,000千円   |
| (6) 下水道整備困難地区の解消    | 432,800千円   |

### II 公共下水道（雨水）の整備 1,748,100千円

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| (1) 雨水幹線の整備      | 1,017,300千円 |
| (2) 合流式下水道の改善    | 330,800千円   |
| (3) 建設部による浸水対策事業 | 400,000千円   |

### III 危機管理体制の強化 496,800千円

- |             |           |
|-------------|-----------|
| (1) 防災対策の強化 | 496,800千円 |
|-------------|-----------|

### IV その他 872,032千円

- |              |           |
|--------------|-----------|
| (1) 他工事関連事業  | 177,500千円 |
| (2) 人件費、事務費等 | 694,532千円 |

施策・主要事業名		令和5年度 当初予算①	令和4年度 当初予算②	比較増減 ①-②	
<b>建設改良費</b>		<b>5,605,572</b>	<b>5,607,074</b>	<b>△ 1,502</b>	
人件費、固定資産購入費等除く		<b>4,960,423</b>	<b>5,284,536</b>	<b>△ 324,113</b>	
<b>I 公共下水道(汚水)の整備</b>		<b>2,488,640</b>	<b>2,985,200</b>	<b>△ 476,560</b>	
(1) 下水道施設(管渠)の改築	事業費	1,095,800	977,500	118,300	
	概要	改築延長L=3.9km(栗島三丁目、山室、上大久保、津羽見、山田中瀬外)	改築延長L=3.6km(豊島町、中島四丁目、花崎外)		
(2) 下水道施設(処理場)の改築	全体	事業費 847,040	1,237,200	△ 390,160	
	浜黒崎浄化センター	事業費	498,500	1,005,000	△ 506,500
		概要	汚泥機械選給施設改築実施設計業務、汚泥脱水施設改築基本設計業務、設備更新検討業務、第一系列水処理設備改築工事、管理本館建築設備外改築工事、管理本館受電設備外改築工事、管理本館排水設備改築工事、水処理施設共通設備改築ストックマネジメント調査・計画策定業務	第一系列水処理設備改築工事、管理本館建築設備外改築工事、汚泥燃料化試験分析検討業務、汚泥消化タンク築造外築設計業務、No.3汚泥加圧脱水機洗浄装置設置工事、No.4粗目スクリーン自動除塵機設備改築工事、水処理施設外脱臭設備改修検討業務	
	その他処理場	事業費	162,000	75,000	87,000
	概要	大沢野浄化センター脱水機換設備外改築工事委託、大山水処理場汚泥脱水機設備外改築工事委託、水橋浄化センター沈砂池・1系水処理施設改築ストックマネジメント調査・計画策定業務	大沢野浄化センター脱水機換設備外改築実施設計業務、水橋浄化センター管理棟建築設備外改築工事、大山水処理場管理棟外築設計業務、改築実施設計業務、小見浄化センター電気設備外改築実施設計業務、松原浄化センター外脱臭設備改築工事		
ポンプ場	事業費	89,000	83,000	6,000	
概要	岩瀬汚水中継ポンプ場沈砂池防食塗装工事委託、岩瀬汚水中継ポンプ場沈砂池設備改築工事委託、七軒町雨水ポンプ場外電気設備外改築実施設計業務、具羽駅前雨水ポンプ場外電気設備外改築実施設計業務、遊星雨水ポンプ場電気計装設備外改築工事委託	岩瀬汚水中継ポンプ場管理棟外壁改修工事委託、牛島排水ポンプ場電気設備外改築実施設計業務、遊星雨水ポンプ場電気設備外改築実施設計業務			
神左流域下水道建設負担金		97,540	74,200	23,340	
(3) 資源の循環	事業費	11,000	10,000	1,000	
	概要	下水熱導入効果検証業務	下水処理場におけるエネルギー効率化ビジョン策定業務		
(4) 処理場の統廃合と再編	事業費	0	42,000	△ 42,000	
	概要		倉垣浄水園外構工事		
(5) 農林水産部による処理場の統廃合	事業費	102,000	0	102,000	
	概要	下糸処理分区水橋石政外地区接続管実施設計業務、熊野処理分区島田地区管渠築造工事			
(6) 下水道整備困難地区の解消	事業費	432,800	698,500	△ 265,700	
	概要	新設延長L=1,650m 公共樹設置(郷中、八尾、大沢野地域)	新設延長L=2,590m 公共樹設置(郷中、八尾、大沢野地域)		
<b>II 公共下水道(雨水)の整備</b>		<b>1,748,100</b>	<b>1,542,500</b>	<b>205,600</b>	
(1) 雨水幹線の整備	事業費	1,017,300	938,500	78,800	
	概要	雨水幹線:L=290m 貯留池:1箇所	雨水幹線:L=90m 貯留池:1箇所		
(2) 合流式下水道の改善	事業費	330,800	274,000	56,800	
	概要	管渠改築(浸水対策):L=40m 排水ポンプ所築造:N=1箇所	管渠改築(浸水対策):L=460m		
(3) 建設部による浸水対策事業	事業費	400,000	330,000	70,000	
	概要	下高層排水区下高層貯留池築造工事、下高層貯留池付帯工事	下高層排水区下高層貯留池築造工事、下高層貯留池排水管実施設計業務		
<b>III 危機管理体制の強化</b>		<b>496,800</b>	<b>538,000</b>	<b>△ 41,200</b>	
(1) 防災対策の強化	事業費	496,800	538,000	△ 41,200	
	概要	耐震化工事 下水処理場、雨水ポンプ場耐震診断業務 マンホールトイレ設置工事 耐水化基本設計	耐震化工事 下水処理場、雨水ポンプ場耐震診断業務 マンホールトイレ設置工事		
<b>IV その他</b>		<b>872,032</b>	<b>561,374</b>	<b>310,658</b>	
(1) 他工事関連事業	事業費	177,500	167,000	10,500	
	概要	物件移転補償に伴う布設費	物件移転補償に伴う布設費		
(2) 人件費	事業費	155,379	150,358	5,021	
	概要	人件費	人件費		
(3) 事務費等	事業費	49,383	71,836	△ 22,453	
	概要	事務費	事務費		
(4) 固定資産購入費等	事業費	489,770	172,180	317,590	
	概要	固定資産購入費等	固定資産購入費等		

公共下水道事業会計(建設改良費)



## I 公共下水道(汚水)の整備

### (1) 下水道施設(管渠)の改築

事業費	1,095,800 千円
(うち補助事業)	584,400 千円)

汚水を確実、安定、持続的に処理場へ流すために、劣化状況等の調査を行い、計画的に管渠等の改築を進めていきます。

#### 令和5年度事業の概要

##### (ア)下水道管の改築

	R3年度(実績)	R4年度(見込)	R5年度
調査・計画延長	約49km	約50km	約50km
改築工事延長	3.8km	4.3km	3.9km

##### ①調査・計画

富山市下水道ストックマネジメント計画に基づき、松川処理分区外の管渠を対象に調査を実施。

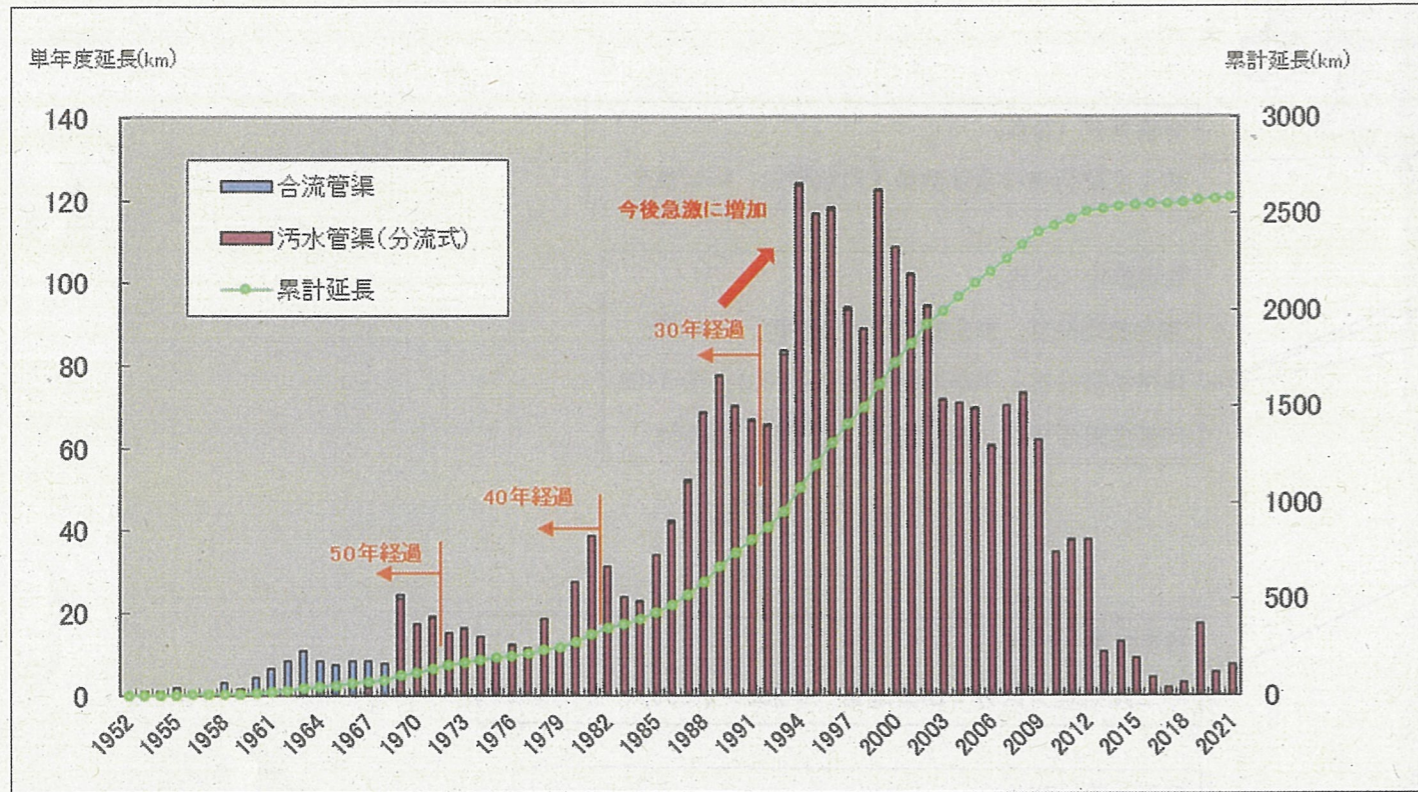
##### ②改築工事

令和4年度に引き続き、奥田処理分区、不二越処理分区、大久保処理分区、大山処理区外を対象に老朽化が著しく、改築の優先度が高い管の改築工事を実施。



# 老朽下水道管対策事業

## 1. 富山市の下水道管路布設年度 (R03 末)



コンクリート管の内訳 (R08末時点)

経過年数	～50年	49年～40年	39年～30年	29年～20年	19年～10年	9年～1年	合計
汚水管渠(分流式)	129.5	192.9	164.0	13.1	6.0	0.0	505.4
累計延長	129.5	322.4	486.3	499.4	505.4	505.4	-
累計割合	26%	64%	96%	99%	100%	100%	-

※管渠延長を算出する上での基準年は、H26年度末時点のもの

## 2. 今後の老朽下水道管対策の進め方

### 1) 合流式下水道区域

「下水道浸水被害軽減総合事業」と「下水道総合地震対策事業」の事業制度も活用し、流下能力増強や耐震化も合わせた効率的な老朽下水道管の改築を進めていく。

### 2) 分流式下水道区域

下水道管は布設経過年数30年頃から道路陥没の頻度が高まる。よって対策事業は、30年以上経過した管から「下水道ストックマネジメント支援制度」を活用し、テレビカメラ調査により管の劣化状況を確認し改築実施計画を策定した上で、交付金により劣化状況の著しい老朽下水道管の改築を耐震化も合わせて進めていく。

## 3. 調査及び工事の進捗状況

富山市ストックマネジメント計画に基づき、布設経過年数や管種による劣化の進み具合に加え、機能不全に陥った場合の社会的影響度を考慮し、重要と判断された下水道管の調査を行う。

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	
調査・点検	延長(KM)	3.7	19.0	22.6	49.0	34.2	24.6	58.4	60.9	47.1	36.4	49.0	49.3	50.0	50.0
	事業費(百万円)	14	74	62	133	105	73	191	215	121	102	229	219	200	200
	累計延長(KM)	3.7	22.7	45.3	94.3	128.5	153.3	211.7	272.6	319.7	356.1	406.0	455.3	505.3	555.3
	累計事業費(百万円)	14	88	150	283	388	461	652	866	987	1,090	1,318	1,537	1,737	1,937
工事 (設計・補償金)	延長(KM)	0	0	0.8	1.9	1.7	1.6	2.4	2.2	6.6	6.4	7.0	3.8	4.3	3.9
	事業費(百万円)	0	0	94	235	261	335	402	560	1,116	845	897	679	763	803
	累計延長(KM)	0.0	0.0	0.8	2.7	4.4	6.0	8.4	10.6	17.2	23.6	30.6	34.4	38.7	42.7
	累計事業費(百万円)	0	0	94	329	590	925	1,327	1,887	3,002	3,847	4,744	5,423	6,185	6,989
全体事業費	老朽管事業費(百万円)	14	74	156	368	366	408	593	775	1,236	947	1,125	898	963	1,003
	累計(百万円)	14	88	244	612	978	1,386	1,979	2,754	3,990	4,937	6,062	6,960	7,923	8,926

## 4. 施工実績

調査年度	処理区分及び団地名	調査延長(km)	健全度 I, II 延長(km)	健全度 I, II 割合
H22	浜黒崎処理区分(田畑新町)	3.7	0.5	13.0%
H23	熊野処理区分(若竹町)	5.1	4.3	84.9%
H23	水橋第1処理区分(水橋花の井町)	2.4	1.5	61.5%
H23	豊田処理区分(米田すずかけ台)	3.3	0.1	3.7%
H23	向新庄処理区分(藤木新町)	1.9	0.5	26.1%
H23	月岡処理区分(月見町)	6.3	0.1	1.6%
H24	水橋第1処理区分(水橋中新町)	3.7	0.0	0.7%
H24	富層処理区分(千成町)	2.2	0.2	10.3%
H24,25	いたち川第3処理区分	60.4	6.2	10.3%
H25	向新庄処理区分(藤の木園町)	2.3	0.1	4.3%
H25	富層処理区分(上富層新町)	1.5	0.1	6.7%
H25	不二越処理区分(向陽台)	1.5	0.3	21.0%
H26,27	いたち川第2処理区分	53.7	9.3	17.2%
H27	水橋第2処理区分(水橋東部)	5.3	1.3	24.5%
H28	いたち川第4処理区分	12.0	1.1	9.5%
H28	富層処理区分(綾田)	1.6	0.3	19.6%
H28	岩瀬処理区分	4.8	0.2	5.0%
H28	豊田処理区分	40.0	3.8	9.4%
H29	豊田処理区分	33.7	2.7	8.0%
H29	向新庄処理区分(藤の木台)	2.8	0.5	17.9%
H29	浜黒崎処理区分	24.4	2.9	11.7%
H30	岩瀬処理区分	20.5	0.2	1.2%
H30	黒崎岩瀬幹線外	26.6	1.0	3.9%
R01	岩瀬処理区分	9.2	0.2	2.3%
R01	本郷不二越幹線外	11.9	1.4	11.8%
R01	豊田処理区分	0.8	0.1	12.5%
R01	奥田処理区分	14.5	1.2	8.3%
R02	奥田処理区分外	49.9	4.6	9.2%
R03	不二越処理区分外	49.3	7.4	15.0%
R04	布瀬処理区分外	50.0	計画未策定	
調査済み延長合計		505.3	-	-
計画策定済み延長合計		455.3	52.3	11.5%

工事 処理区分及び団地	R03まで 施工済延長 (km)	R04 施工済延長 (km)	R05 施工済延長 (km)
浜黒崎処理区分(田畑新町)	0.8	-	-
熊野処理区分(若竹町)	5.1	-	-
水橋第1処理区分(水橋花の井町)	1.7	-	-
豊田処理区分(米田すずかけ台)	0.1	-	-
向新庄処理区分(藤木新町)	0.5	-	-
月岡処理区分(月見町)	0.1	-	-
水橋第1処理区分(水橋中新町)	0.0	-	-
富層処理区分(千成町)	1.4	-	-
いたち川第3処理区分	1.7	-	-
向新庄処理区分(藤の木園町)	0.3	-	-
いたち川第2処理区分	8.9	-	-
水橋第2処理区分(水橋東部)	1.0	-	-
いたち川第4処理区分	1.3	-	-
富層処理区分(綾田)	0.3	-	-
岩瀬処理区分	0.9	-	-
豊田処理区分	6.3	1.2	-
向新庄処理区分(藤の木台)	0.5	-	-
浜黒崎処理区分	2.9	-	-
草島処理区分	-	-	-
大山処理区	0.6	1.0	0.9
奥田処理区分	-	2.2	1.3
不二越処理区分	-	-	1.4
大久保処理区分	-	-	0.1
山田処理区	-	-	0.2
計	34.4	4.3	3.9



# 富山市公共下水道施工予定箇所図

( 汚 水 )

管渠改築 (流公)

草島処理分区 金山新地区 (φ250) L=10m

管渠新設 (流公)

呉羽第三処理分区 吉作地区 (φ200) L=100m

管渠新設 (流特)

金屋第一処理分区 寺町地区 (φ150) L=70m

地震対策 (公共)

いたち川第二処理分区  
マンホールトイレシステム設置 N=1箇所 (10基)

管渠新設 (特環)

熊野処理分区 島田地区 (φ75) L=560m

管渠改築 (特環)

山田処理区 山田中瀬地区 (φ200~φ300) L=200m

管渠新設 (流公)

布設要望 (φ200) L=300m

管渠新設 (流特)

布設要望 (φ150) L=300m

管渠改築 (公共)

奥田処理分区外 粟島町三丁目外地区 (φ200~φ250) L=1,290m

地震対策 (公共)

第2次緊急通行確保路線人孔耐震化 N=90箇所

管渠新設 (公共)

富居処理分区 新庄町地区 (φ200) L=120m

奥田処理分区 下新本町地区 (φ200) L=110m

向新庄処理分区 金代地区 (φ200) L=50m

管渠改築 (公共)

不二越処理分区外 山室地区 (φ250~φ300) L=1,430m

管渠改築 (公共)

大山処理区 津羽見外地区 (φ200~φ300) L=880m

管渠改築 (公共)

大久保処理区 上大久保地区 (φ200) L=130m

管渠新設 (公共)

布設要望 (φ200) L=300m

管渠新設 (特環)

布設要望 (φ150) L=300m

凡 例	
公共下水道事業	令和3年度施工箇所
	令和4年度施工箇所
	令和5年度予算要求箇所(補助)
	令和5年度予算要求箇所(単独)
	令和6年度以降施工予定箇所
参 考	処理区境界
	市街化区域
	都市計画区域
	流域下水道幹線



# I 公共下水道(汚水)の整備

## (2) 下水道施設(処理場)の改築

事業費	847,040 千円
(うち補助事業)	730,500 千円)

汚水を確実、安定、持続的に処理するため、施設の老朽度や将来の普及率を勘案しながら、計画的に施設の改築や増設を行います。

### 令和5年度事業の概要

#### (ア) 下水処理場の改築

758,040 千円

##### ① 浜黒崎浄化センター

498,500 千円

・第1系列水処理設備改築(その2)工事(継続 R4~R5:2年目)

継続事業費 (単位:千円)

	R4年度	R5年度	合計
事業費	176,000	149,000	325,000

・管理本館建築設備外改築工事(継続 R4~R5:2年目)

継続事業費 (単位:千円)

	R4年度	R5年度	合計
事業費	176,000	117,000	293,000

・管理本館受変電設備外改築工事(継続 R5~R6:1年目)

継続事業費 (単位:千円)

	R5年度	R6年度	合計
事業費	110,000	393,400	503,400

・汚泥機械濃縮施設改築実施設計業務

・汚泥脱水施設改築基本設計業務

・計画水質設定に関する調査手法検討業務

・管理本館揚水設備改築工事

・水処理施設共通設備改築ストックマネジメント調査・計画策定業務

##### ② 水橋浄化センター

17,000 千円

・沈砂池・1系水処理施設改築ストックマネジメント調査・計画策定業務



③ 大沢野浄化センター 64,000 千円

・脱水機棟設備外改築工事委託(継続 R5~R6:1年目)  
継続事業費 (単位:千円)

	R5年度	R6年度	合計
事業費	64,000	136,000	200,000

④ 大山水処理場 81,000 千円

・汚泥脱水機設備外改築工事委託(継続 R5~R6:1年目)  
継続事業費 (単位:千円)

	R5年度	R6年度	合計
事業費	81,000	429,000	510,000

⑤ 神通川左岸流域下水道建設負担金 97,540 千円

・幹線管渠耐震化工事  
・神通川左岸浄化センター 汚泥濃縮機、監視制御設備更新

(イ)ポンプ場の改築 89,000 千円

① 岩瀬汚水中継ポンプ場 36,000 千円

・沈砂池防食塗装工事委託(継続 R5~R7:1年目)  
継続事業費 (単位:千円)

	R5年度	R6年度	R7年度	合計
事業費	7,000	17,000	10,000	34,000

・沈砂池設備改築工事委託(継続 R5~R7:1年目)  
継続事業費 (単位:千円)

	R5年度	R6年度	R7年度	合計
事業費	29,000	216,000	85,000	330,000

② 七軒町雨水ポンプ場外 13,000 千円

・電気設備外改築実施設計業務

③ 呉羽駅前雨水ポンプ場外 11,000 千円

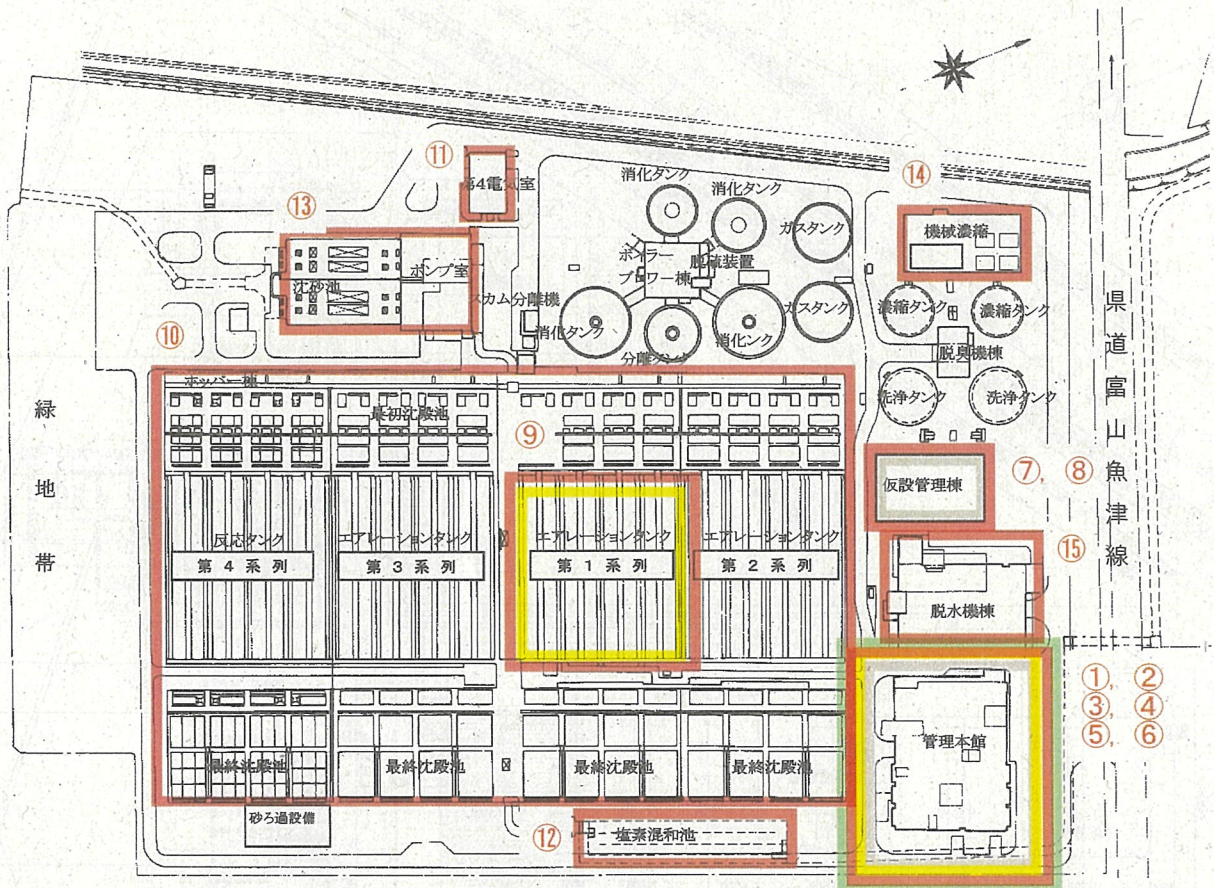
・電気設備外改築実施設計業務

④ 速星雨水ポンプ場 29,000 千円

・電気計装設備外改築工事委託



# 浜 黒 崎 浄 化 セ ン タ ー



## (管理本館)

- ① 管理本館建築設備外改築工事 (R4~R5継続)
- ② 管理本館受変電設備外改築工事 (R5~R6継続)
- ③ 管理本館建築設備外改築工事に伴う水質測定業務委託
- ④ 管理本館揚水設備改築工事
- ⑤ 管理本館耐震化(その2)工事委託【事業団】(R3~R5継続)
- ⑥ 管理本館耐水化基本設計業務委託【事業団】

## (仮設管理棟)

- ⑦ 仮設管理棟撤去復旧業務委託
- ⑧ 仮設管理棟設備移設業務委託

## (水処理施設)

- ⑨ 第1系列水処理設備改築(その2)工事 (R4~R5継続)
- ⑩ 水処理施設ストックマネジメント調査・計画策定業務委託【事業団】
- ⑪ 導水渠・第四電気室耐震診断業務委託【事業団】
- ⑫ 塩素混和池耐震診断業務委託【事業団】
- ⑬ 沈砂池・ポンプ棟、第四電気室耐水化基本設計業務委託【事業団】

## (汚泥処理施設)

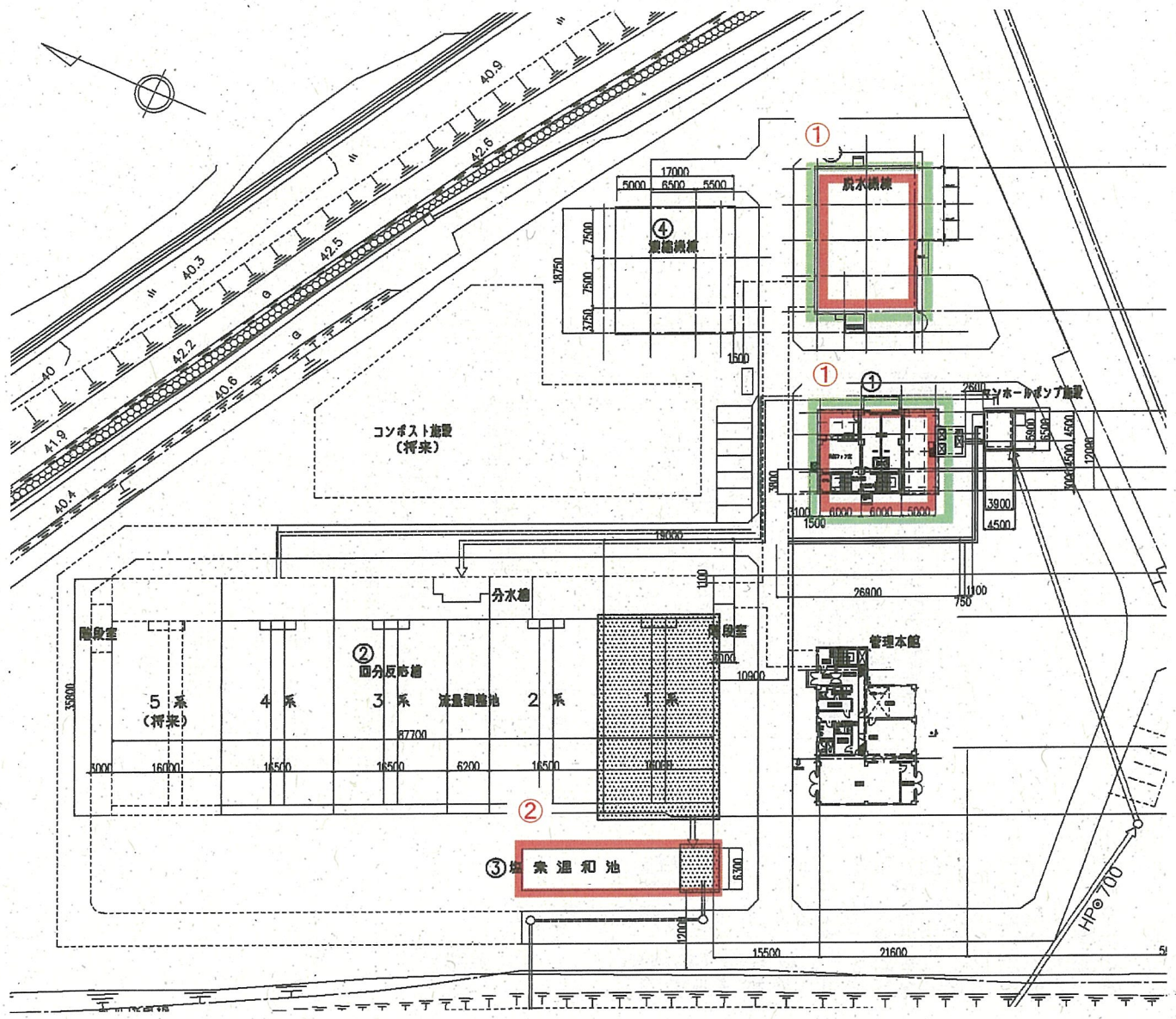
- ⑭ 汚泥機械濃縮施設改築実施設計業務委託【事業団】
- ⑮ 汚泥脱水施設改築基本設計業務委託【事業団】

## 凡 例

	令和3年度までに施工済み箇所
	令和4年度施工予定箇所
	令和5年度施工予定箇所
	令和6年度施工予定箇所
	令和7年度以降施工予定箇所



# 大 沢 野 浄 化 セ ン タ ー

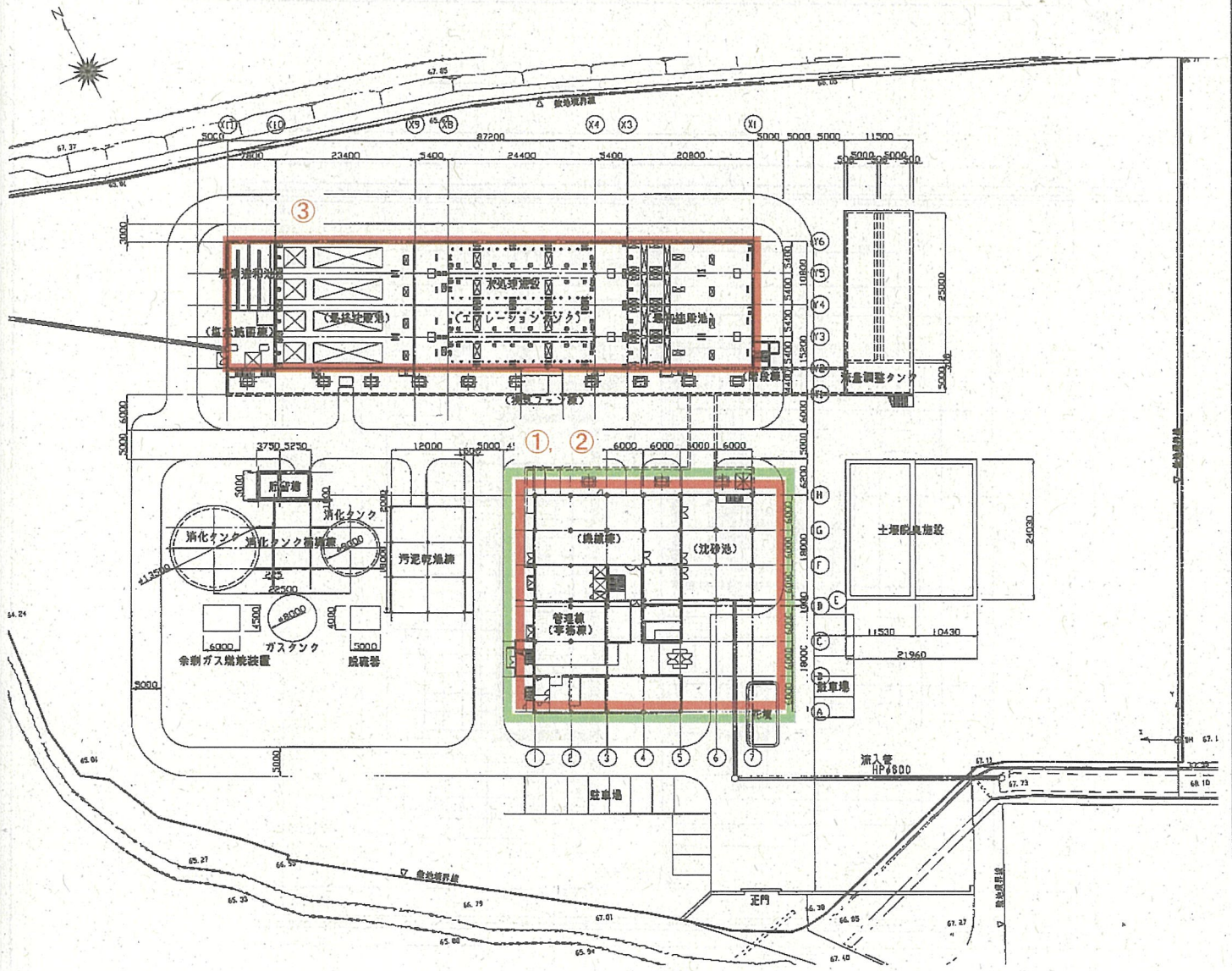


- (脱水機棟・沈砂池ポンプ棟)  
 ① 脱水機棟設備外改築工事委託【事業団】 (R5~R6継続)  
 (塩素混和池)  
 ② 塩素混和池耐震診断業務委託【事業団】

凡 例	
	令和3年度までに施工済み箇所
	令和4年度施工予定箇所
	令和5年度施工予定箇所
	令和6年度施工予定箇所
	令和7年度以降施工予定箇所



# 大 山 下 水 処 理 場

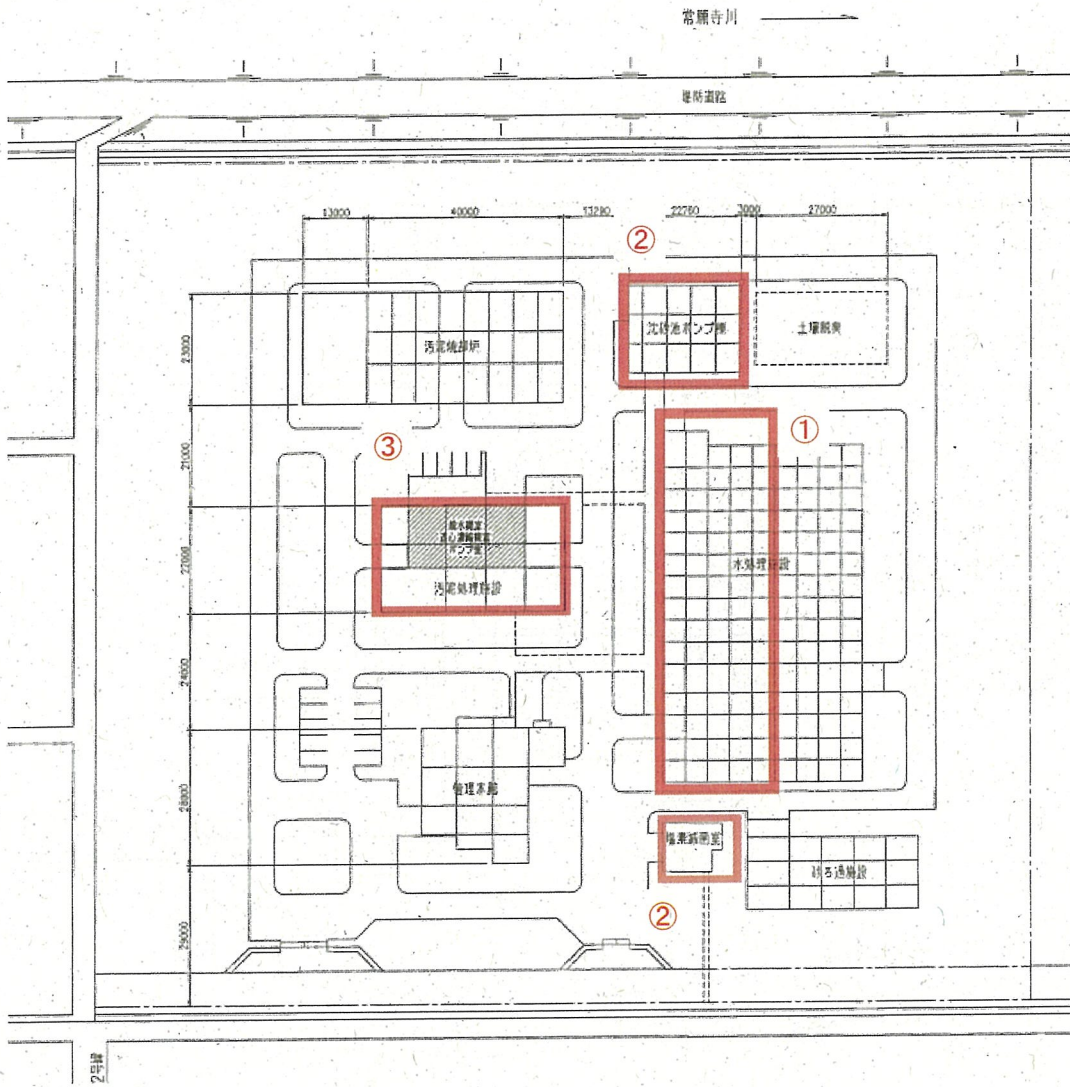


- (管理棟・機械棟)
- ① 汚泥脱水機設備外改築工事委託【事業団】(R5~R6継続)
  - ② 管理棟・機械棟耐水化基本設計業務委託【事業団】
- (水処理施設)
- ③ 水処理施設耐震診断業務委託【事業団】

凡 例	
	令和3年度までに施工済み箇所
	令和4年度施工予定箇所
	令和5年度施工予定箇所
	令和6年度施工予定箇所
	令和7年度以降施工予定箇所



# 水橋浄化センター



## (水処理施設)

- ① 水処理施設ストックマネジメント調査・計画策定業務委託【事業団】
- ② 沈砂池ポンプ棟、塩素混和池耐震診断業務委託【事業団】

## (機械棟)

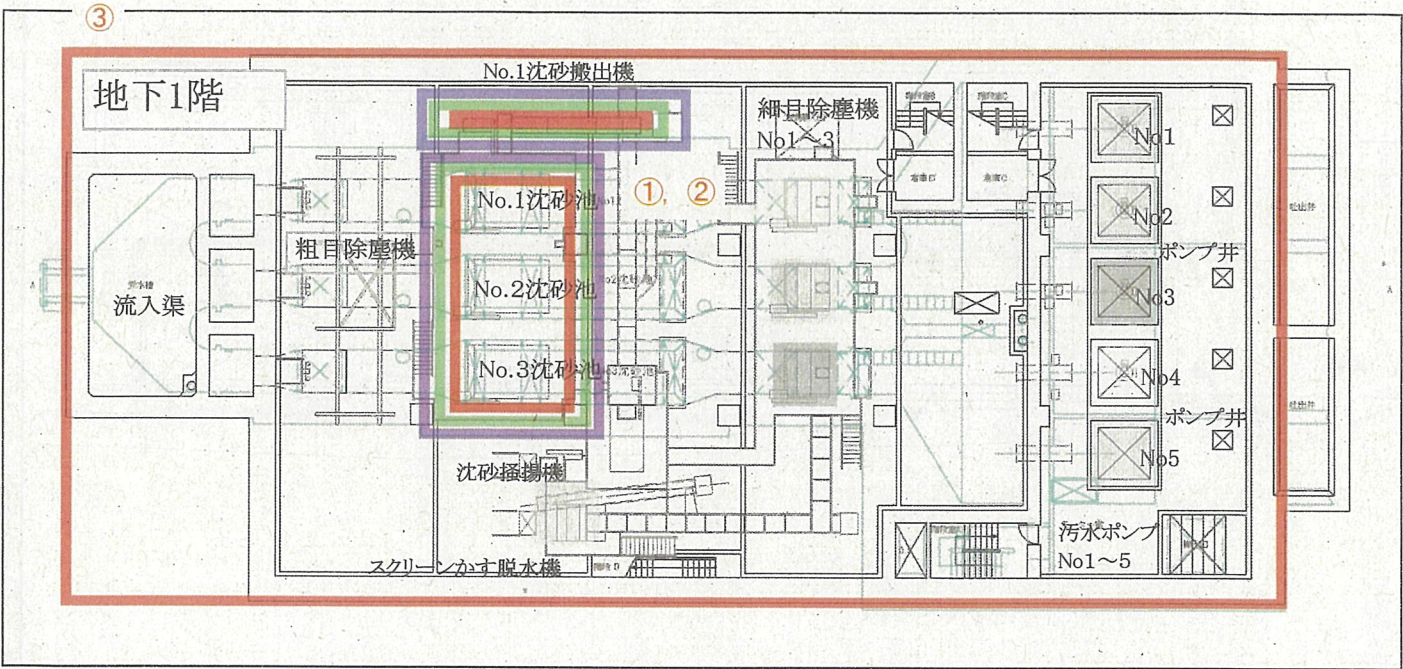
- ③ 機械棟耐水化基本設計業務委託【事業団】

## 凡 例

	令和3年度までに施工済み箇所
	令和4年度施工予定箇所
	令和5年度施工予定箇所
	令和6年度施工予定箇所
	令和7年度以降施工予定箇所



# 岩瀬汚水中継ポンプ場

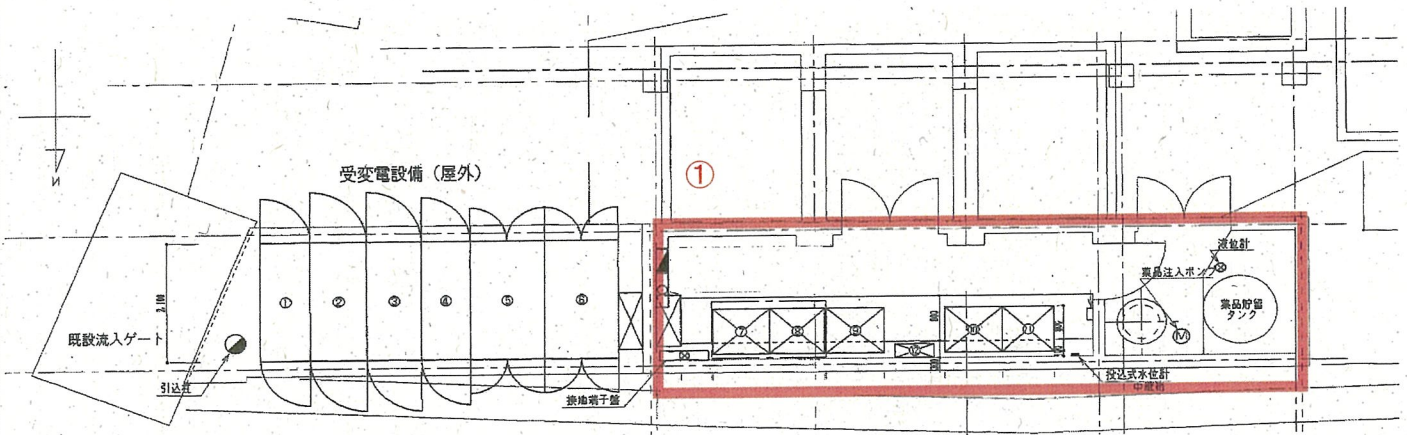


- (沈砂池)
- ① 沈砂池設備改築工事委託【事業団】(R5~R7継続)
  - ② 沈砂池防食塗装工事委託【事業団】(R5~R7継続)
- (施設全体)
- ③ 耐水化基本設計業務委託【事業団】

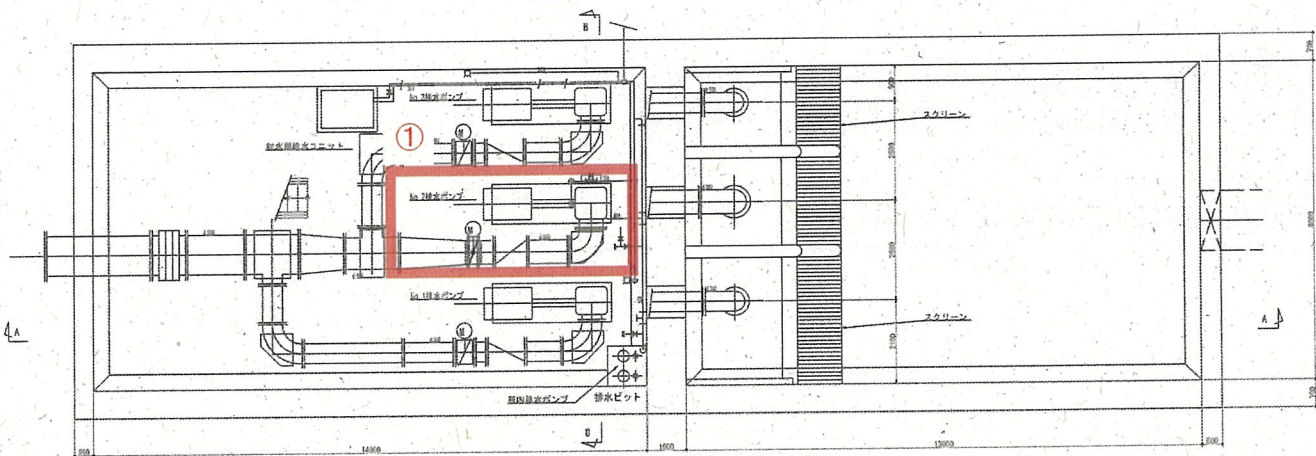
凡 例	
	令和3年度までに施工済み箇所
	令和4年度施工予定箇所
	令和5年度施工予定箇所
	令和6年度施工予定箇所
	令和7年度以降施工予定箇所








# 七軒町雨水ポンプ場



# 神通町排水ポンプ場



(電気設備)  
① 七軒町雨水ポンプ場外電気設備外改築実施設計業務委託【事業団】

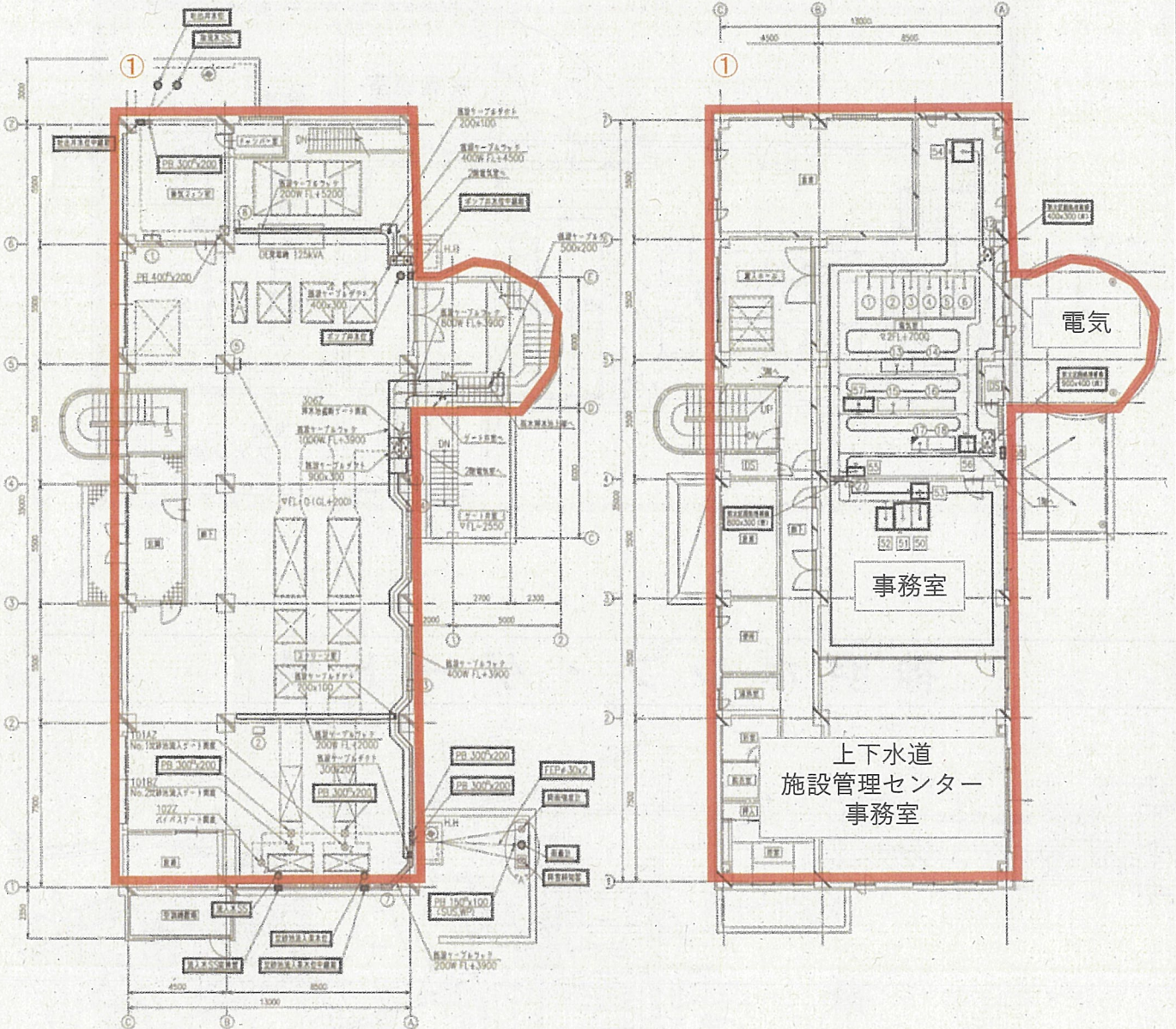
凡 例	
	令和3年度までに施工済み箇所
	令和4年度施工予定箇所
	令和5年度施工予定箇所
	令和6年度施工予定箇所
	令和7年度以降施工予定箇所








# 牛島雨水排水ポンプ場

1階平面

2階平面

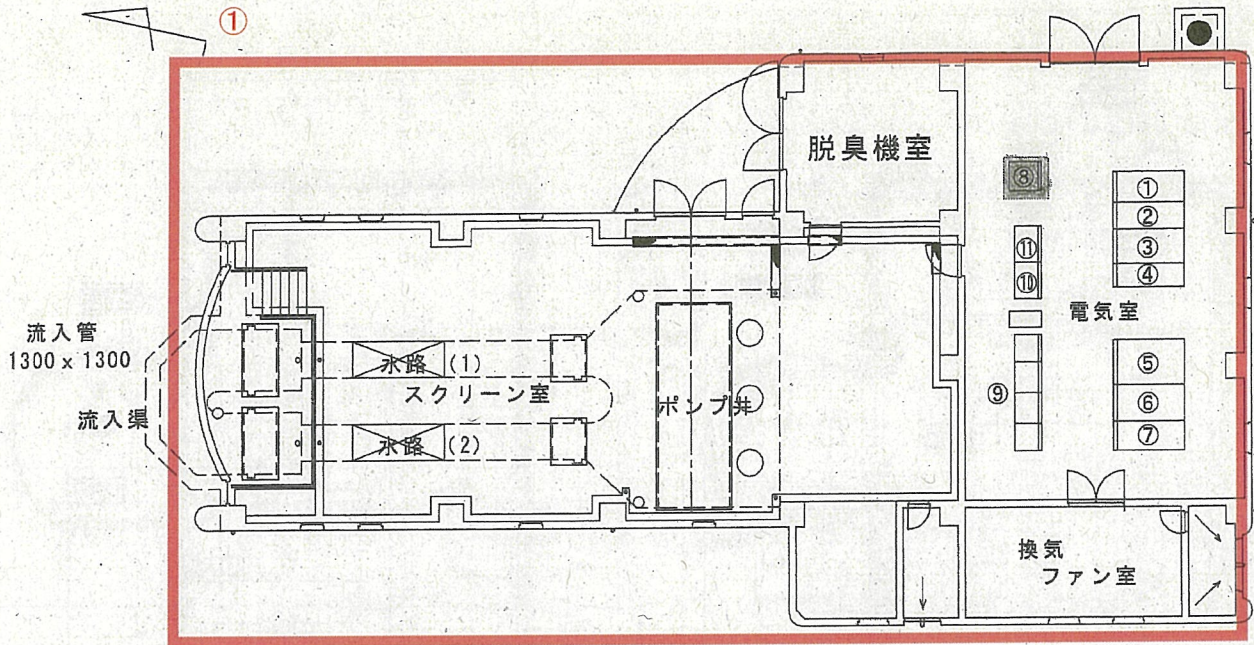


(施設全体)  
① 耐震診断業務委託【事業団】

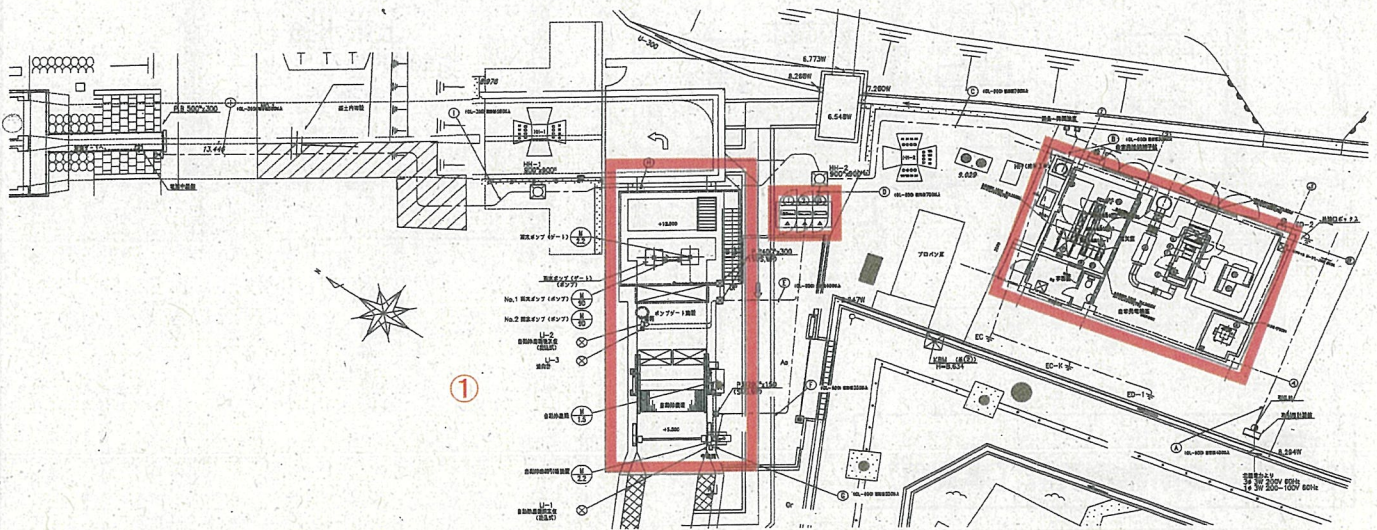
凡 例	
	令和3年度までに施工済み箇所
	令和4年度施工予定箇所
	令和5年度施工予定箇所
	令和6年度施工予定箇所
	令和7年度以降施工予定箇所








# 呉羽駅前雨水ポンプ場



# 神明ポンプ・ゲート場

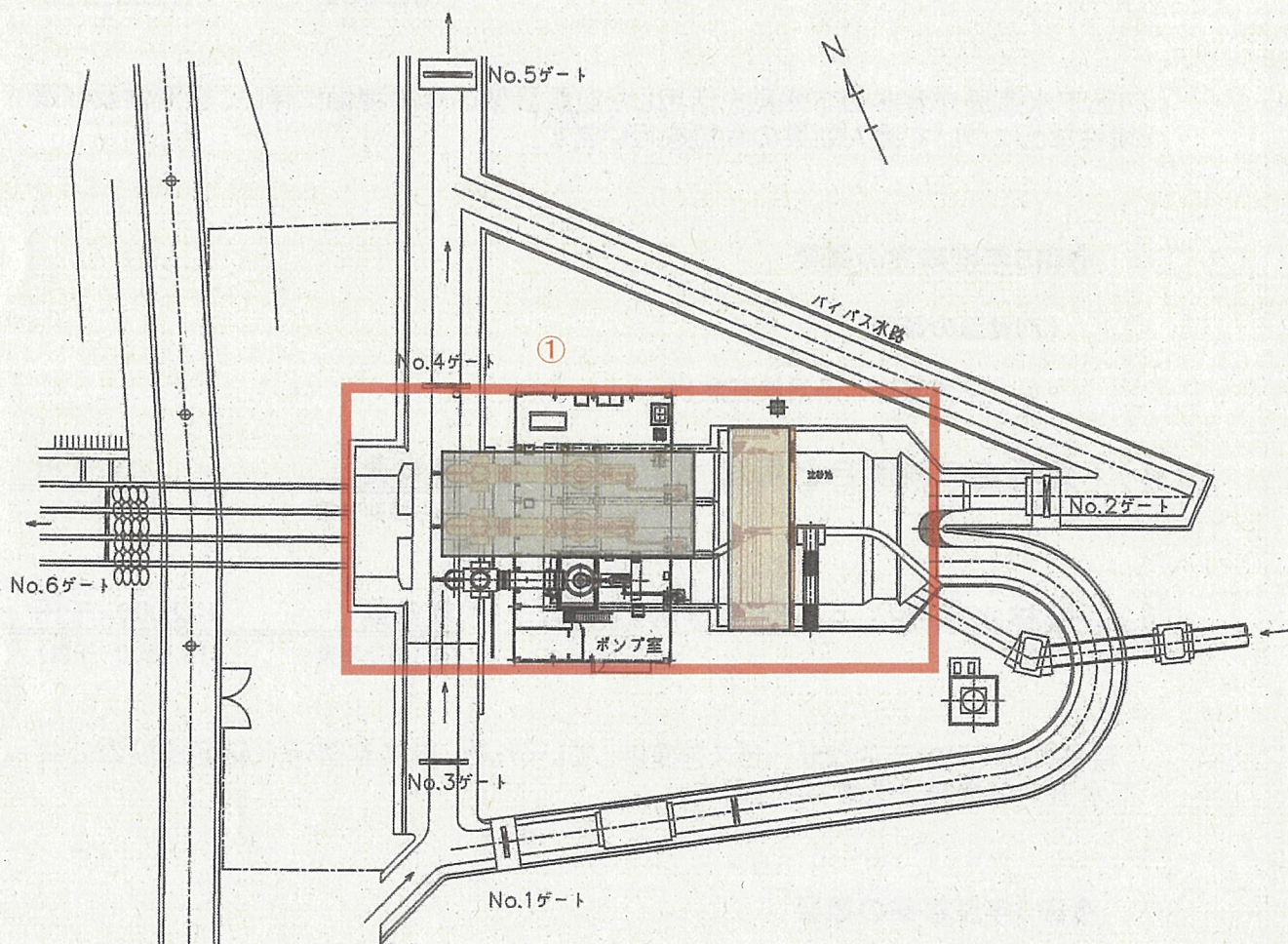


(電気設備)  
① 呉羽駅前雨水ポンプ場外電気設備外改築実施設計業務委託【事業団】






凡 例	
	令和3年度までに施工済み箇所
	令和4年度施工予定箇所
	令和5年度施工予定箇所
	令和6年度施工予定箇所
	令和7年度以降施工予定箇所



# 速星雨水ポンプ場



(電気計装設備)  
 ① 電気計装設備外改築工事委託【事業団】

凡 例	
	令和3年度までに施工済み箇所
	令和4年度施工予定箇所
	令和5年度施工予定箇所
	令和6年度施工予定箇所
	令和7年度以降施工予定箇所



## I 公共下水道(汚水)の整備

### (3) 資源の循環

<b>事業費</b>	<b>11,000 千円</b>
(うち補助事業)	11,000 千円)

上下水道局庁舎への下水熱を活用した空調設備の本格稼働に伴い、経済性及び環境性などについて導入効果の検証を行います。

#### 令和5年度事業の概要

##### (ア)資源の循環

- ・下水熱導入効果検証業務

### (4) 処理場の統廃合と再編

<b>事業費</b>	<b>0 千円</b>
(うち補助事業)	0 千円)

### (5) 農林水産部による処理場の統廃合

<b>事業費</b>	<b>102,000 千円</b>
(うち補助事業)	102,000 千円)

将来にわたり安定的なサービスを提供していくため、農業集落污水处理施設の公共下水道への接続を進めていきます。

#### 令和5年度事業の概要

##### (ア)処理場の統廃合

- ・熊野処理分区島田地区管渠築造工事
- ・下条処理分区水橋石政外地区管路施設実施設計業務委託

### (6) 下水道整備困難地区の解消

<b>事業費</b>	<b>432,800 千円</b>
(うち補助事業)	46,600 千円)

生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図るために、整備困難地区の解消や開発等に伴う新たな下水道の整備を計画的に行います。

#### 令和5年度事業の概要

##### (ア)未整備・整備困難地区の解消

- |                      |        |
|----------------------|--------|
| ・富居処理分区新庄町地区管渠築造工事   | 120m   |
| ・向新庄処理分区金代地区下水管布設工事  | 50m    |
| ・奥田処理分区下新本町地区下水管布設工事 | 110m   |
| ・呉羽第三処理分区吉作地区下水管布設工事 | 100m   |
| ・金屋第一処理分区寺町地区下水管布設工事 | 70m    |
| ・布設要望地区下水管布設工事       | 1,200m |



## II 公共下水道(雨水)の整備

### (1) 雨水幹線の整備

事業費 1,017,300 千円

(うち補助事業 926,300 千円)

過去の浸水履歴をもとに、浸水の危険性・浸水対策の効果等を整理し、計画的に雨水幹線等を整備することにより、浸水被害の低減を図ります。

### 令和5年度事業の概要

#### (ア)雨水幹線等の整備

	R3年度(実績)	R4年度(見込)	R5年度
管渠施工延長	325m	248m	290m
貯留施設整備数	1箇所	0箇所	1箇所
整備面積	21ha	2ha	46ha
都市浸水対策達成率	77.5%	77.5%	78.1%

(参考)全国の都市浸水対策達成率(R3年度末)

全国 都市浸水対策達成率	約62%
-----------------	------

※ 都市浸水対策達成率:大雨に対して安全である地区の面積の割合

#### ①雨水管渠

- ・下新第一排水区下新川雨水幹線築造工事 60m
- ・大沢野東排水区大沢野東第1雨水幹線築造工事 30m
- ・本郷第一排水区本郷第5雨水幹線築造工事(継続R5~R7:1年目)
  - R5施工延長 200m
  - R5~R7施工延長 530m

継続事業費

(単位:千円)

	R5年度	R6年度	R7年度	合計
事業費	460,000	430,000	60,000	950,000

#### ②雨水貯留施設

- ・新鍛冶川排水区呉羽苑貯留池築造工事(継続 R4~R5:2年目) V=1,200m<sup>3</sup>

継続事業費

(単位:千円)

	R4年度	R5年度	合計
事業費	570,000	175,000	745,000

- ・呉羽苑貯留池排水ポンプ設備工事



## II 公共下水道(雨水)の整備

### (2) 合流式下水道の改善

事業費	330,800 千円
(うち補助事業)	281,400 千円)

合流式下水道区域の浸水被害の軽減を図るため、排水能力の向上を目的とした管渠等の改築を計画的に実施します。

#### 令和5年度事業の概要

##### (ア)合流式下水道の改善

##### ① 浸水対策

323,800 千円

	R3年度(実績)	R4年度(見込)	R5年度
浸水対策 工事延長	206m	630m	40m

- ・松川第二排水区一番町地区浸水対策工事 40m
- ・松川第二排水区一番町雨水排水ポンプ所築造工事 N=1箇所

##### ② 水質調査

7,000 千円

合流式下水道雨天時放流水現況調査業務

### (3) 建設部による浸水対策事業

事業費	400,000 千円
(うち補助事業)	400,000 千円)

富山市浸水対策基本計画に基づき、下水道事業を活用した浸水対策事業を行うことにより、早期に浸水被害の低減を図ります。

#### 令和5年度事業の概要

##### (ア)建設部による浸水対策事業

##### ① 浸水対策

400,000 千円

- ・下富居排水区下富居貯留池築造工事(継続R4~R6:2年目) V=4,100m<sup>3</sup>  
継続事業費 (単位:千円)

	R4年度	R5年度	R6年度	合計
事業費	280,000	320,000	200,000	800,000

- ・下富居貯留池付帯工事
- ・富山市浸水対策基本計画策定業務



# 富山市公共下水道施工予定箇所図

( 雨水 )

## 雨水貯留施設

新鍛冶川排水区  
呉羽苑貯留池 V=1,200m<sup>3</sup>

## 雨水貯留施設

下富居排水区  
下富居貯留池 V=4,100m<sup>3</sup>

## 雨水管渠

下新第一排水区  
下新川雨水幹線 □3,500×1,700 L=60m

## 雨水管渠

松川第二排水区  
一番町地区 浸水対策 φ800 L=40m

## 雨水管渠

本郷第一排水区  
本郷第5雨水幹線 φ1,650 L=530m

## 雨水管渠

大沢野東排水区  
大沢野東第1雨水幹線 □4,000×2,500 L=30m

凡 例	
■	令和3年度並施工済箇所
■	令和4年度施工箇所
■	令和5年度予算要求箇所
■	令和6年度以降施工予定箇所
—	認可区域
---	市街化区域
—	都市計画区域
—	下水道雨水対策対象地域
---	排水区域



### Ⅲ 危機管理体制の強化

#### (1) 防災対策の強化

事業費 496,800 千円

(うち補助事業 493,800 千円)

自然災害や事故などの危機発生に対して、迅速かつ的確に対応していくため、危機管理体制を整備し、被害の発生防止及び軽減を目指します。防災対策の強化として、地震時及び洪水時における下水道施設の被害を軽減するため、下水道施設の耐震化や耐水化を行います。

#### 令和5年度事業の概要

##### (ア) 下水道施設の耐震化

404,900 千円

- ・浜黒崎浄化センター管理本館耐震化(その2)工事(継続R3～R5:3年目)  
継続事業費 (単位:千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	合計
事業費	55,000	66,000	38,300	159,300

- ・下水道幹線管路施設耐震化診断業務委託
- ・雨水管路施設耐震化診断業務委託
- ・浜黒崎浄化センター導水渠、第四電気室耐震診断業務
- ・大沢野浄化センター塩素混和池(非線形)耐震診断業務
- ・水橋浄化センター沈砂池ポンプ棟、塩素混和池(非線形)耐震診断業務
- ・大山下水処理場水処理施設(第1及び第2系列)耐震診断業務
- ・牛島雨水排水ポンプ場耐震診断業務
- ・第2次緊急通行確保路線マンホール耐震化工事 90箇所
- ・マンホールトイレ設置実施設計業務、工事

##### (イ) 下水道施設の耐水化

91,900 千円

- ・浜黒崎浄化センター管理本館耐水化基本設計業務
- ・浜黒崎浄化センター沈砂池・ポンプ棟、第四電気室耐水化基本設計業務
- ・水橋浄化センター機械棟耐水化基本設計業務
- ・大山下水処理場管理棟、機械棟耐水化基本設計業務
- ・岩瀬汚水中継ポンプ場耐水化基本設計業務



---

## VI その他

---

### 1 富山市水道事業、工業用水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定の件

#### (1) 趣旨

富山市公共下水道事業計画の変更に伴い、予定処理区域面積、計画処理人口及び1日最大処理水量の数値を改正するもの。

#### (2) 公共下水道事業の予定処理区域面積等

##### ア 予定処理区域面積

「10,981.4ヘクタール」 → 「11,057.6ヘクタール」

##### イ 計画処理人口

「386,330人」 → 「377,420人」

##### ウ 1日最大処理水量

「264,257立方メートル」 → 「259,670立方メートル」

#### (3) 施行期日 令和5年4月1日